Panasonic

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-U1 シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

表記とイラストについて

→ :	本書内の参照先を示しています。
お願い :	安全にお使いいただくための情報を記載しています。
お知らせ :	お使いいただくうえで便利な情報を記載しています。
↵ :	[↵]（Enter）キーを押すことを意味します。
Fn + ←（Del）:	[Fn] キーを押しながら、[←]（Del）キーを押すことを意味します。 ● 本書はフルキーモデルを基本にキーの説明をしています。 テンキーモデルをご使用の場合はキーの組み合わせが異なりますので、脚注をご覧ください。
クリック :	スタイラスペンで画面をタッチすることを意味します。
右クリック :	① デスクトップの をスタイラスペンでクリックする。 ② 右クリックする対象をクリックする。
[スタート] - [すべてのプログラム] :	画面上の [スタート] をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすることを意味します。

Windows XP について

本書では、Windows XP の初期設定を用いて説明しています。

本機のキーボード操作について

本機は、片手での操作をしやすくするため、お買い上げ時には固定キー機能と Fn キーロック機能が有効に設定されています。(➔ 8 ページ)

- キーボードの操作でスタートメニューを表示させる場合は、固定キー機能を有効にした状態で、 (Windows) を 3 回押してください。
- 本説明書は、固定キー機能が無効の場合のキー操作を記載しています。

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- タッチパネルや他のキー操作と同時に使用しないでください。
- Windows にログオンするまで、操作は行わないでください。フラッシュメモリードライブ状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、「内部 LCD の輝度調整」と「画面の表示先の切り替え」のみ行えます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windows にログオンすると、ポップアップアイコンが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります。([コマンドプロンプト] が全画面表示になっているときなど。)

フルキーモデル	テンキーモデル	機能	ポップアップアイコン
Fn + Q (▼☼) Fn + W (☼▲)	Fn + * (▼☼) Fn + + (☼▲)	内部 LCD の輝度調整 < フルキーモデル > (Fn + Q (▼☼) = 下げる ／ Fn + W (☼▲) = 上げる) < テンキーモデル > (Fn + * (▼☼) = 下げる ／ Fn + + (☼▲) = 上げる) お知らせ ● この機能を使わなくても、環境によって内部 LCD の輝度が変わる場合があります。	

フルキーモデル	テンキーモデル	機能	ポップアップアイコン
Fn + E (▭/▭)	Fn + 4 (▭/▭)	画面の表示先の切り替え（➔ 90 ページ） （外部ディスプレイ接続時） 内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ **お願い** ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 • DVD-Video や MPEG ファイルなどの動画を再生しているとき • ピンボールなどのゲーム画面を表示しているとき • 簡易ユーザー切り替えを行っているとき。または、パスワード付きのスクリーンセーバー／スタンバイ／休止状態からリジュームしているとき。 ● Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。Fn + E (▭/▭)[*1] を押すと、外部ディスプレイまたは内部 LCD に切り替わります。 ● ディスプレイが切り替わらないときは、デスクトップを右クリックし、[画面の設定] をクリックしてからディスプレイを選択してください。 [*1] テンキーモデルの場合：Fn + 4 (▭/▭)	—
Fn + R (🔇)	Fn + 5 (🔇)	音声出力のオン／オフ **お知らせ** ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。	オフ（ミュート） オン

フルキーモデル	テンキーモデル	機能	ポップアップアイコン
Fn + A (▼音量) Fn + S (音量▲)	Fn + ・ (▼音量) Fn + 7 (音量▲)	音量調整 (Fn + A (▼音量)*2 = 下げる ／ Fn + S (音量▲)*3 = 上げる) お知らせ ● 音量を微調整するときは、Fn を押したまま A (▼音量)*2 または S (音量▲)*3 を断続的に押してください。 *2 テンキーモデルの場合：Fn + ・ (▼音量) *3 テンキーモデルの場合：Fn + 7 (音量▲)	
Fn + T (スタンバイ)	Fn + 6 (スタンバイ)	スタンバイ状態に入る（➔ 27 ページ）	—
Fn + F (バッテリー)	Fn + 9 (バッテリー)	バッテリー残量確認	（➔ 34 ページ）
Fn + G (休止)	Fn + 0 (休止)	休止状態に入る（➔ 27 ページ）	—
Fn + Z (キーボード)	Fn + Ctrl (キーボード)	キーボードの照明	—

キーボードおよび操作ボタンをロックする

パソコンをタッチパネルのみで使用する場合など、誤ってキーボードや操作ボタンに触れても動作しないようにできます。

フルキーモデル	テンキーモデル	機能
Fn + D ()	Fn + 8 ()	キーボード（Fn + D（）以外）[*4]、スクロールボタン、ズームボタンおよびアプリケーションボタンが無効になります。 ロックのときは： ・ロックの解除方法を示すメッセージが表示されます。 ・画面右下のタスクトレイの が に変わります。 ・ロックされたキーを押すと、キーボード全体が光ります。 ロックを解除するには、 Fn + D ()[*4] を再度押してください。 お知らせ ● 電源スイッチは無効になりません。 ● ユーザー切り替えなど、ユーザーアカウントを選択する画面ではロックを解除できません。 ● パソコンの電源を切ると、ロックは解除されます。 [*4] テンキーモデルの場合：Fn + 8（）

Hotkey 設定

■ Fn キーの設定

次の 2 つの設定を行うことができます。

- **Fn** キーロック
  Fn を押した後、他のキーを押すまで 、Fn キーが押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- ポップアップアイコンの表示／非表示

1 **Hotkey 設定プログラムを起動する。**
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey 設定] をクリックする。

2 **各項目を設定する。**
[Fn **キーをロックする**]
● **Fn** を 1 回だけ押す場合
① **Fn** を 1 回押す。（Fn キーがロック状態になり、キー横のライトが点灯）
② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）
● **Fn** を連続して使う場合
① **Fn** を 2 回押す。（Fn キーがロック状態になり、キー横のライトが点灯）
② 組み合わせる他のキーを押す。
再度 **Fn** を押すまでロック状態のままです。
[通知方法]
[Fn キーが押されたときに音を鳴らす]*5
[Fn キーの状態を画面に表示する]：Fn キーの状態を画面右下のタスクトレイに表示します。
- Fn: **Fn** ロック状態
- Fn: **Fn** ロック解除

[ポップアップを表示しない]
ポップアップアイコンが表示されなくなります。

3 **[OK] をクリックする。**

お知らせ

● Hotkey 設定は、ユーザーごとに設定できます。

*5　音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

■ Ctrl、Alt*6、Shift*6、および Windows キーの設定

Ctrl、Alt*6、⇧ (Shift)*6 または ⊞ (Windows) キーを押したままの状態（ロック状態）にします。他のキーを押すと解除されます。本機は、片手での操作をしやすくするため、お買い上げ時にはこの機能が有効に設定されています。

1 画面右下のタスクトレイの をクリックする。

2 固定キー機能を設定する。

- 機能を有効にするには
  [固定キー機能 有効] にチェックマークを付ける。
- 機能を無効にするには
  [固定キー機能 有効] のチェックマークを外す。

固定キー機能を有効にしたときの Ctrl、Alt*6、⇧ (Shift)*6 または ⊞ (Windows) キーの動作

- 1 回押すと：キーがロックされ、他のキーを押すと解除されます。
- 2 回押すと：キーがロックされ、他のキーを押しても解除されません。
- 3 回押すと：ロックが解除されます。

- ロックされている間は、各ボタン横のライトが点灯します。（Windows キーを除く）
- 画面右下のタスクトレイでは以下のように表示されます。

  ⇧ Ctrl Alt ：ロックされたキーのアイコンの色が変わる
  （図の場合は ⇧ (Shift)*6 がロックされていることを示しています。）

お知らせ

- ユーザーごとに設定できます。
- 固定キー機能が有効のとき：
  ⊞ (Windows) キーを 1 回押してもスタートメニューは表示されず、3 回押すと表示されます。（Windows の仕様による）
- 固定キー機能が無効のとき：
  Ctrl + Alt + Fn + ← (Del)*7 を押した後は、 Ctrl と Alt*6 キー横のランプが点灯したままになります。元の画面に戻ると消灯します。
- 文字入力時に、⇧ (Shift)*6 キーが押されたことを画面上で確認する場合は、下記の手順で固定キーの通知をインストールしてください。
  ① コンピューターの管理者の権限でログオンする。

② [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥pnotif¥setup.exe」と入力して、[OK] をクリックする。
画面の指示に従って操作してください。

③ [はい、すぐにコンピュータを再起動させせます] にチェックマークを付け、[終了] をクリックする。
本機が再起動します。
キーを押すと、“Shift Key ON”が表示されます。

---

*6 テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使ってください。

*7 テンキーモデルの場合：Fn + ● (Ctrl+Alt+Del)

タッチパネル機能を使って、マウスと同様の操作ができます。付属のスタイラスペンで画面の表面に触れてください。

- 右クリックするには

  ① デスクトップの をスタイラスペンでクリックする。
  が に変わります。
  ② 右クリックする対象をクリックする。
  が に戻ります。

お知らせ

- タッチパネル機能はセットアップユーティリティでは使用できません。

タッチパネルの操作

- 指または付属のスタイラスペンでタッチパネルを操作する
  タッチパネル機能を使うときは、必ず指または付属のスタイラスペンで表面に触れながら操作してください。
  指やスタイラスペン以外のもの（指の爪や金属、硬くて先のとがったもの）でタッチパネルを操作すると、表面に傷跡や汚れが付いて誤動作の原因になることがあります。

- 大きな力をかけずに操作する
  タッチパネルは軽く触れるだけで操作できます。大きな力をかけると表面を傷つけることがあります。

タッチパネルのお手入れ

- タッチパネルが汚れたときは、専用布でふき取る
  タッチパネルには専用の処理が施されていますので、汚れは専用布で簡単にふき取ることができます。簡単に汚れが落ちなければ、表面に息を吹きかけてからふき取ってください。
  専用布に水や溶剤を染み込ませてふき取らないでください。
  詳細は、「LCD 画面清掃についてのお願い」を参照してください（➔ 12 ページ）。

- パソコンの電源を切ってから清掃する
  電源を入れて画面を清掃すると、パソコンが誤動作を起こす原因になります。また、タッチパネルの汚れは電源が切れているときの方が目立つため、清掃がしやすくなります。

- 専用布の汚れを洗い落とす
  専用布の汚れは刺激の少ない洗剤で洗濯してください。漂白剤や布地用柔軟剤（軟化剤）を使ったり、沸騰したお湯で専用布を殺菌しないでください。
  汚れた専用布を使用すると、タッチパネルに汚れが付着する原因になります。

- タッチパネル表面のひっかき傷を防ぐため、次の項目を確認する
  - 指またはスタイラスペンでタッチパネルを操作しているか
  - 表面が汚れていないか
  - 専用布が汚れていないか
  - スタイラスペンの先端が変形していないか
  - スタイラスペンの先端が汚れていないか
  - 指が汚れていないか

タッチパネル操作時の注意事項

- 表示領域の外に触れない
  タッチパネルで操作できる範囲は画面の表示領域内です。表示領域の外に触れると、誤動作したり傷が付いたりする原因になります。

- タッチパネルに必要以上の力をかけない
  LCD をつかんでパソコンを持ち上げないください。また、LCD の上 にものを載せないでください。このような取り扱いをすると、タッチパネルのガラス面や内部 LCD が破損することがあります。

- 気温が下がると操作時の応答速度が低下する
  パソコンを気温 5 ℃ 未満の場所で使用するとタッチパネルの応答速度が低下することがありますが、これは誤動作ではありません。パソコンが室温まで上がると応答速度は正常な状態に戻ります。

- 画面で触れた位置とは異なる位置へカーソルがジャンプしたときや、**LCD** の解像度が変更されたときは、タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行する（➔ 13 ページ）

LCD 画面清掃についてのお願い

本機の LCD 画面は、屋外での視認性向上のため、低反射コーティングがされており、お取り扱いによっては傷つきやはがれが発生する可能性があります。そのため、本機には LCD をふくための専用布を付属しております。ご使用になる前に以下の説明を必ずお読みください。

- 指紋等の LCD 画面の汚れは、必ず付属の専用布でふいてください。
- 専用布で LCD 画面以外をふかないでください。

＜専用布の使いかた＞

- 専用布は乾いた状態で使用してください。専用布に水や薬品を付けないでください。
- LCD がぬれた場合は専用布で軽くふき取ってください。

- 本機を使用する前に、LCD 画面をふくことをおすすめします。
- LCD 画面に付着した砂やほこりはあらかじめ、専用布の片面で軽くふき取っておいてください。この際、強くふき取ると砂やほこりで LCD の表面を傷つけることがあります。
  次に、砂やほこりをふき取った面と反対の面で、指紋等の汚れをふき取ってください。砂やほこりをふき取った後は、布を洗濯（下記参照）して砂やほこりを取っておいてください。
- 布が汚れた場合は中性洗剤を使用して洗濯してください。漂白剤、柔軟材の使用や煮沸消毒をしないでください。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロール パネルのその他のオプション] をクリックする。**

2 **[タッチパネル] をクリックする。**

3 **[タッチパネル設定] の [位置補正] を選ぶ。**

4 **[補正点数] の [9 点]、[12 点]、または [20 点] を選ぶ。**

5 **[補正を実行する] をクリックする。**

6 **画面上に順番に“+”が表示されるので、スタイラスペンを使って点滅するまで1つずつ触れた後、↵（Enter）を押す。**

7 **[補正] の [終了] をクリックする。**

8 **[OK] をクリックする。**

お知らせ

- ユーザーごとに上記の補正（キャリブレーション）を実行してください。

ソフトウェアキーボードを使用することができます。ソフトウェアキーボードを使用すると、キーボードのサイズを変えたり、テンキータイプのソフトウェアキーボードを使用したりできます。

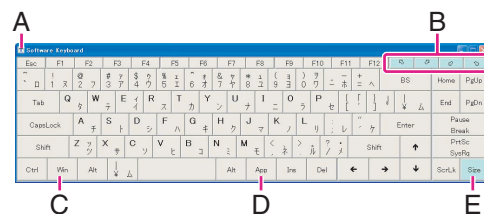
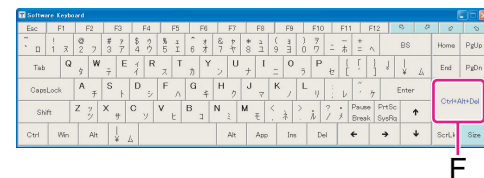
ソフトウェアキーボード

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Software Keyboard] をクリックする。**

2 **ソフトウェアキーボードに触れる。**

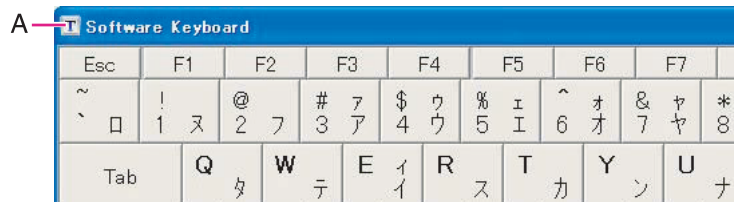
- ショートカットキーを使うには
  例 : Ctrl + C
  Ctrl を押した後（青色に変わる)、C を押します。
- 入力できる言語を追加した場合は、タスクトレイに言語バーが表示されます。キーボードの言語を選ぶには、タスクトレイの言語バーを使ってください。キーボードの言語が変わらない場合は、ソフトウェアキーボードのタイトルバーをクリックしてから、もう一度アプリケーションを選択してください。

A. ソフトウェアキーボードのメニューが表示されます (➔ 15 ページ)。
B. 画面の四隅に移動します。
C. １回クリック : Windows のショートカットキー (⊞ + C など) として動作します。
　２回クリック : ⊞ と同じ働きをします。
D. マウスの右ボタンクリックと同じ働きをします。(▤ キーと同じ)
E. 標準タイプのソフトウェアキーボードとテンキータイプのソフトウェアキーボードを切り替えます。
F.「Ctrl + Alt +Del」と同じ働きをします。

< Windows にログオンした後の画面>

< Windows 起動時のログオン画面およびようこそ画面>

お知らせ

- [コマンドプロンプト] 画面が全画面表示になっている場合は、ソフトウェアキーボードで入力できません。
- アプリケーションソフトごとに異なる言語を設定することができ（⇒ Windows ヘルプ)、アプリケーションソフトウェアに従いキーボードの配置が切り換わります。
- 言語によっては、一部のキーがオレンジ色に表示されます。これらのキーは「 ë 」や「 ô 」などの入力に使います。

ソフトウェアキーボードのメニュー

1 **(A) をクリックする。**

2 **使いたい機能にチェックマークを付ける。**

- **[自動移動]**
  選択されているウィンドウを隠さないように、ソフトウェアキーボードが自動的に移動します。
- **[自動復元]**
  ソフトウェアキーボードが画面右下のタスクトレイに最小化されている場合、文字入力が可能な状態になると、ソフトウェアキーボードが自動的に復元されます。アプリケーションによっては、自動的に復元しない場合もあります。
- **[常に最前面表示]**
  ソフトウェアキーボードを常に最前面に表示するかどうかを設定します。
- **[半透明]**
  ソフトウェアキーボードを半透明表示にします。
- **[大]/[中]/[小]**
  ソフトウェアキーボードのサイズを選びます。
- **[テンキー（大）]/[テンキー（中）]/[テンキー（小）]**
  テンキーボードのサイズを選びます。

お知らせ

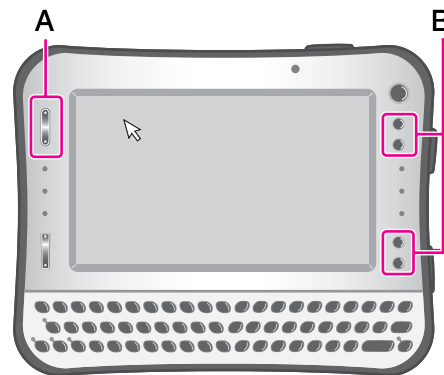
- テンキータイプのソフトウェアキーボードに表示される通貨記号（B）は変更することができます。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [地域と言語のオプション] - [地域オプション] - [カスタマイズ] - [通貨] - [通貨記号] をクリックする。
  - 現在の通貨記号を変更したあと、T（A）をクリックしてテンキータイプのソフトウェアキーボードのサイズを変更すると、選択された通貨記号が表示されます。
- （C）を使って単位を入力できます。

ハードウェアボタン設定

スクロールボタンのスクロール速度を調整したり、好みのアプリケーションの起動を 4 つのアプリケーションボタンに登録したりできます。

1 **画面右下のタスクトレイの をクリックしメニューを表示させる。**

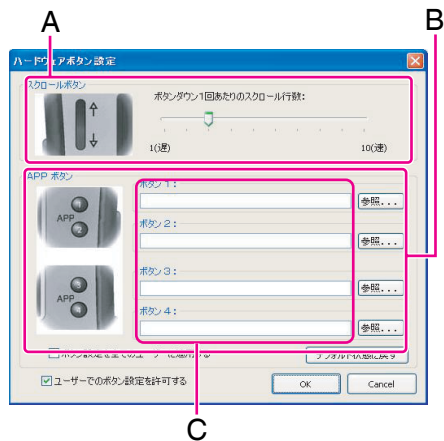
2 **[ハードウェアボタン設定] をクリックする。**
ハードウェアボタン設定が起動します。

3 **設定する。**
[スクロールボタン] (A)
バーを左右にスライドさせて、スクロールボタンを 1 回押したときの移動行数を調整します。

[APPボタン] (B)
アプリケーションの実行ファイルを登録できます。

- **Ctrl** + **Alt** + **Fn** + ← (Del)[*1]機能は、セットアップユーティリティの[メイン]メニューで、[ボタン 4]に割り当てることができます。[APP4 ボタン]の項目から[Ctrl+Alt+Del] を選んでください。(➔ 107 ページ)

① [ボタン1]～[ボタン4] にある [参照] ボタンをクリックする。
② 実行したいファイルを選択し確定する。

- [.exe]ファイル以外（[.pdf]、[.jpg]、[.wma] など）も選べます。
  - [.exe]ファイル以外を選択する場合は、まず[すべてのファイル(*.*)]を選んでください。
  - [.exe]ファイルを選択したときのみ、パラメーターの設定ができます。
  - アプリケーションと関連付けされていないファイルの場合は、選択しても実行できません。
- [ボタン1]～[ボタン4]それぞれに異なるファイルを登録できます。
- ファイルの登録を取り消すには、エディットボックス(C)の文字を削除して空白にしてください。

4 **[OK] をクリックする。**

お知らせ

- Ctrl + Alt + Fn + ← (Del)*1 機能を、セットアップユーティリティで [ボタン 4] に割り当てると、[ボタン 4] のアプリケーションの実行ファイルを変更できなくなります。
- コンピューターの管理者は、管理者のアプリケーションボタン設定の使用をすべてのユーザーに許可することができます。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、[ボタン設定をすべてのユーザーに適用する] にチェックマークを付けてください。
- コンピュータの管理者は、他のユーザーのアプリケーションボタンの設定を制限することができます。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、[ユーザーでのボタン設定を許可する] のチェックマークを外してください。

*1 テンキーモデルの場合 : Fn + ● (Ctrl+Alt+Del)

画面ズーム機能

画面をズーム（拡大）することで、小さな文字やアイコンなどを見やすくすることができます。
ズームした画面上でクリックなどの操作が行えます。

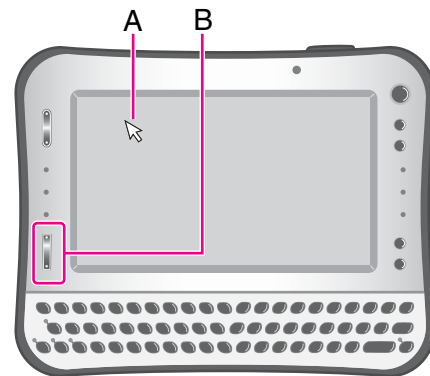
お知らせ

- 以下の場合は、画面ズーム機能を使用できません。
  - 画面設定で、実際の画面解像度より大きな解像度を設定しているとき
  - Windows 起動時のログオン画面やログオフ状態のとき
- 以下のものはズームできません。
  - Fn キーとの組み合わせで表示されるポップアップアイコン
- 動画はズームできない場合があります。
- 外部ディスプレイでは、表示先を同時表示にしたときのみズームできます。
- 拡張デスクトップモードを設定しているとき
  - プライマリデバイスのみ拡大されます。
  - ポインターをセカンダリデバイスに移動させようとしても、拡大したプライマリデバイスにとどまったままの場合があります。
  - [画面端クリック] モードを選択した場合のみ、ポインターをセカンダリデバイスに移動させることができます。ただし、ズームカーソルを使用している場合は、ポインターは、セカンダリデバイスに表示されません。
  - 外部ディスプレイをプライマリデバイスに設定している場合は、表示を拡大することはできません。
- 画面全体を拡大表示しているときは、「ポインタの軌跡を表示する」「文字の入力中にポインタを非表示にする」など、[マウスのプロパティ] で設定した機能のいくつかが働かない場合があります。
- アプリケーションソフトによっては、拡大表示中にポインターが 2 個表示される場合があります（例：[ペイント]）。

1 **ズームしたい位置にカーソル (A) を置く。**

2 **ズームボタン (B) を押す。**

⊕：拡大
⊖：縮小（元の大きさまで）
ズームボタンを押すごとに、ズーム率が変化します。（100% ～ 500% の間を変化）

- 画面右下のタスクトレイの をクリックしてズームメニューを表示させ、ズーム率を選択することもできます。

■ 元のサイズに戻す

2 つの方法があります。

● ズームボタンの [ ] 側を数回押して、元のサイズに戻す。

● 画面右下のタスクトレイの をクリックしてズームメニューを表示させ、[100% ズーム] をクリックする。

お知らせ

● ズーム中であっても、以下の場合は元のサイズに戻ります。
  • ユーザーを切り替えたとき
  • スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき
  • ログオフ状態のとき
  • Ctrl + Alt + Fn + ← (Del)[*1] を押したとき
● ズーム率を 100%に設定した場合のみ、[フルスクリーンズーム設定] 画面と [バージョン情報] 画面が表示されます。
● ズームメニュー、[フルスクリーンズーム設定] 画面や [バージョン情報] 画面などを表示すると、ズームボタン ( ) を押しても、ズーム率 100%から画面を拡大することはできません。

[*1] テンキーモデルの場合 : Fn + ● (Ctrl+Alt+Del)

■ ズームモードを選択する

1 画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックする。

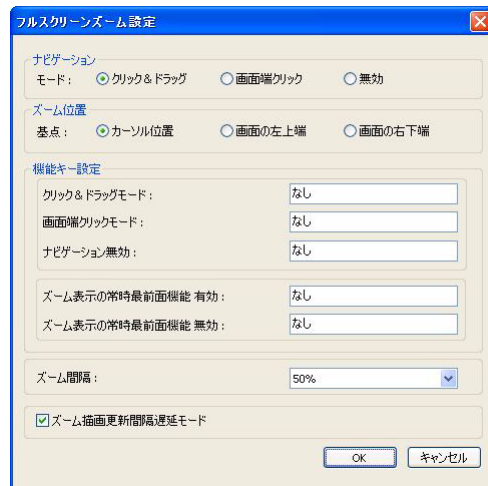
ズームメニューが表示されます。

2 [設定] をクリックする。

[フルスクリーンズーム設定] 画面が表示されます。

3 好みの設定を行う。

[ナビゲーション]

● [クリック＆ドラッグ]
  • このモードを選ぶと、カーソルが に変更されます。同時に、画面右上の角に [入力モードへ切り換え] ボタンが表示されます。
  • カーソルでドラッグすると、表示領域を動かすことができます。
  • [クリック＆ドラッグ] モードを選択した場合は、ズームしたデスクトップ上のアイコンやウィンドウを操作することはできません。これらの操作を有効にするには、[入力モードへ切り換え] ボタンをクリックして入力モードにしてください。

- ズームしたデスクトップ上のアイコンやウィンドウを操作したい場合は、[入力モードへ切り換え] ボタンをクリックしてください。ただし、入力モードで表示領域を動かすことはできません。クリック&ドラッグモードに戻るには、ズームボタン（ または ）を押してください。

- [画面端クリック]
  - タッチパネルの四辺のいずれかをクリックし続けると、表示領域が動きます。
- [無効]
  - 表示領域は動きません。

[ズーム位置]
ズーム位置は、[カーソル位置]、[画面の左上端] または [画面の右下端] の中から選べます。

4 **[OK] をクリックする。**

お知らせ

- [フルスクリーンズーム設定] 画面で、以下の設定をすることもできます。

ズーム間隔の設定
ズームボタン操作での 1 回あたりのズーム倍率の変更量を選択できます。

画面描画更新間隔遅延モード
工場出荷時はチェックマークが付いた状態です。チェックマークを付けた場合は、ズーム状態でコンピューターを一定時間操作しないときに、画面を再描画する間隔を長くします。チェックマークを外した場合は、ズーム状態でスタンバイや休止状態に入らなくなることがあります。

Hot Key 設定 (➔ 23 ページ)

ズームカーソルを使う

ズームカーソルを使うには、以下の手順にしたがって [ズーム専用カーソル] にチェックマークを付けてください。ズーム状態で、カーソルは に変わります。ウインドウの枠上にカーソルがあるときも のように表示されます。

1 **画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックする。**
ズームメニューが表示されます。

2 **[ズーム専用カーソル] をクリックして、チェックマークを付ける。**

お知らせ

- 以下の場合のみ、[ズーム専用カーソル]、[バージョン情報] および [フルスクリーンズームの終了] が表示されます。
  - ズーム率が 100%（100%ズーム）
- 独自のカーソルを表示するアプリケーションソフト（ペイントなど）を使用する場合、以下の制限があります。
  - アプリケーションソフト独自のカーソルは拡大されません。
  - アプリケーションソフト独自のカーソルが正しい位置に表示されない場合があります。この場合は、ズームカーソルを使ってください。
- 表示を拡大中に、ズームカーソルを使う、使わないを切り替えることはできません。

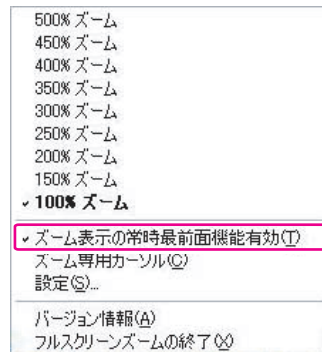
その他の設定

■ 常時最前面機能

ズーム状態で、タスクトレイなどが 100% で表示されないように、常にズーム画面を最前面で表示します。

① 画面右下のタスクトレイの をクリックしてズームメニューを表示させる。

② [ズーム表示の常時最前面機能有効]をクリックしてチェックマークを付ける。（工場出荷時はチェックマークが付いています。）

500% ズーム
450% ズーム
400% ズーム
350% ズーム
300% ズーム
250% ズーム
200% ズーム
150% ズーム
✓ 100% ズーム
✓ ズーム表示の常時最前面機能有効(T)
ズーム専用カーソル(C)
設定(S)...
バージョン情報(A)
フルスクリーンズームの終了(X)

■ Hotkey 設定

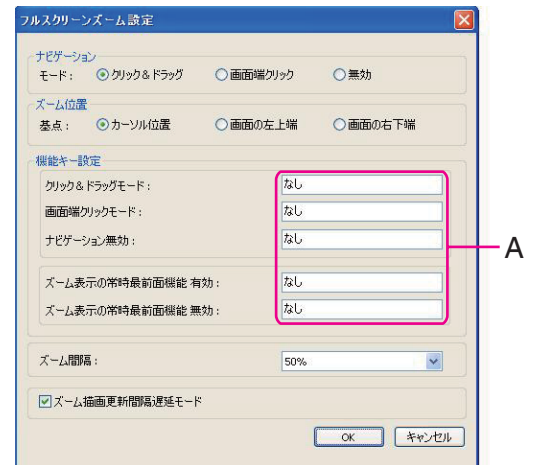
キーの組み合わせ操作でズームの設定ができます。

① 画面右下のタスクトレイの をクリックして、ズームメニューを表示させる。

② [設定] をクリックする。

③ エディットボックス（A）をクリックして、好みのキーを押す。
組み合わせることのできるキーは、 **Ctrl** と ⇧(Shift) *2 です。

- **Ctrl** または ⇧(Shift) *2 のいずれかと組み合わせる場合は、エディットボックスをクリックした後、組み合わせるキー（**Ctrl** + **Z** など）を同時に押してください。
- **Alt** キーを Hot Key として使用することはできません。
- 以下の機能を割り当てることができます。
  [クリック＆ドラッグモード]
  [画面端クリックモード]
  [ナビゲーション無効]
  [ズーム表示の常時最前面機能 有効] ：常時最前面機能を有効にします。
  [ズーム表示の常時最前面機能 無効] ：常時最前面機能を無効にします。

④ [OK] をクリックする。

*2 テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使用してください。

タッチパネルにサインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「Panasonic 手書き」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- 市販のポインティングデバイス（マウスなど）のドライバーをインストールすると、「Panasonic 手書き」は動作しなくなります。

お知らせ

- 画面の色数を変更すると、「Panasonic 手書き」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下のタスクトレイの をを右クリックして [Panasonic 手書きの終了] をクリックした後、再度「Panasonic 手書き」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「Panasonic 手書き」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

「Panasonic 手書き」を起動する

1　画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。

または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Panasonic 手書き] をクリックする。

お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に [オプション] - [画面サイズの設定] で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー] をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。

スタンバイ・休止状態

パソコンをすばやく起動する

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スタンバイまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スタンバイ	メモリー	短い	必要 （フラッシュメモリーに保存する前に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	フラッシュメモリー	やや長い	不要 （ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

スタンバイ・休止状態の設定

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定] をクリックする。**

2 **[ポータブルコンピュータを閉じたとき] ／ [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] または [休止状態] を選び、[OK] をクリックする。**

お知らせ

- Windows のメニューを使ってスタンバイまたは休止状態に入る場合は、この設定は不要です。

使用上のお願い

- 長時間スタンバイ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スタンバイ状態ではなく休止状態にしてください。
- スタンバイまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スタンバイまたは休止状態を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- 休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。画面が暗くなりますが、いずれのキーにも触れないでください。
- リジュームの際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スタンバイまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。

  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] をクリックして、アカウントを選ぶ。

  ② [パスワードを作成する] をクリックし、パスワードを設定する。

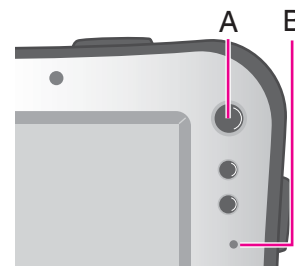
  ③ [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] にチェックマークを付ける。
- 下記の場合は、スタンバイ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スタンバイ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - フラッシュメモリードライブ状態表示ランプ と SD メモリーカード状態表示ランプの点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - 通信ソフトウェアやネットワーク機能を使用してデータ通信をしているとき
  - 周辺機器の使用中
    （周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）

スタンバイ・休止状態に入る／リジュームする

■ スタンバイ・休止状態に入る

1　ビープ音 [*1] が鳴るまで電源スイッチ（A）を押す。

スタンバイ：電源状態表示ランプ（B）が緑色に点滅する。
休止状態：電源状態表示ランプ（B）が消える。

- スタンバイ・休止状態に入るには、他に 2 つの方法があります。
  - Fn + T (zz) (スタンバイ) または Fn + G (z) (休止状態)[*2]
  - スタンバイ状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] - [スタンバイ] をクリックしてください。休止状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] をクリックし、⇧ （Shift）[*3] を押したまま [休止状態] をクリックしてください。

[*1] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。
[*2] テンキーモデルの場合：Fn + 6 （zz）（スタンバイ）または Fn + 0 （z）（休止状態）
[*3] テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使用してください。

お願い

- ビープ音 [*4] が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。電源スイッチを 4 秒以上押すと、パソコンが強制終了し、[コンピュータの電源ボタンを押したとき] を [シャットダウン] に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。（➔ 25 ページ「スタンバイ・休止状態の設定」）

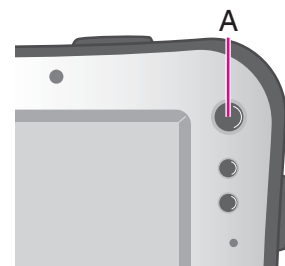
  [*4] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。
- スタンバイ・休止状態処理中は次の操作をしないでください。
  - キーボード、タッチパネル、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - 無線切り替えスイッチの入／切
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スタンバイ）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スタンバイ・休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。

スタンバイ・休止状態のとき

- 周辺機器（クレードルを含む）の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スタンバイ状態では電力が消費されています。電力の供給がなくなると、メモリーに保持されていたデータが失われます。スタンバイに入るときは、AC アダプターを接続してください。

■ スタンバイまたは休止状態からリジュームする

1 **電源スイッチ（A）を押す。**

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約 30 秒（通常）または 1 分（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、タッチパネル、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - Windows の終了または再起動
  - スタンバイまたは休止状態に入る（約 1 分間お待ちください）
  - 無線切り替えスイッチの入／切
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

お知らせ

- スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了] をクリックしてください。
  Bluetooth 接続が切れたときは、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth 設定] をクリックしてから、接続し直してください。

消費電力を節約する

以下の設定を行うと省電力の効果があります。バッテリーで使用する場合は、より長時間使えるようになります。

無駄な電力を使わない

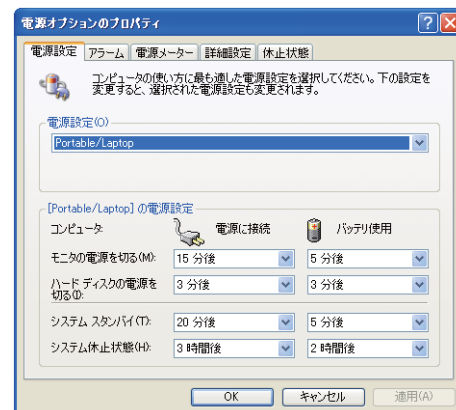
以下の方法で消費電力を節約することができます。

- **[電源オプション] を変更する**
  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックして、[電源設定] の [Max Battery] を選択します。
  工場出荷時は [電源設定] が [Portable/Laptop] に設定されていますが、[Max Battery] に変更することでさらに消費電力が節約できます。
  さらに、[モーターの電源を切る] で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。

- **Fn + Q (▼☼)*1 で内部 LCD の明るさを暗くする**
  内部 LCD の明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
  *1 テンキーモデルの場合：Fn + * (▼☼)

- **使わないときはパソコンの電源を切る**
  無線 LAN、ワイヤレス WAN（ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ）または Bluetooth の電源を個別に切ることもできます。

- **使わない周辺機器（USB 機器、外部マウスなど）は取り外す**

- **スタンバイ・休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間離れるときは、Fn + T (zz)*2 でスタンバイ状態、または Fn + G (zz)*3 で休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力を抑えることができます。
  *2 テンキーモデルの場合：Fn + 6 (zz)
  *3 テンキーモデルの場合：Fn + 0 (zz)

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

● 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
 • 内蔵セキュリティ（TPM）（➔ 112 ページ）：詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1 **セットアップユーティリティを起動する（➔ 105 ページ）。**

2 **「セキュリティ」を選ぶ。**

3 **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、↵（Enter）を押す。**

4 **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、↵（Enter）を押す。**
● パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して ↵（Enter）を押してください。
● パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして ↵（Enter）を押してください。

5 **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、↵（Enter）を押す。**

6 **Fn + B (F10)[*1] を押し、「はい」を選んで ↵（Enter）を押す。**

[*1] テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使って F10 を押してください。

お願い

● パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンを使用できなくなる可能性があります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
● セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

● パスワードは画面に表示されません。
● 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大 32 文字です。
 • 大文字、小文字は区別されません。
 • パスワードの入力に ⇧（Shift）と Ctrl は使用できません。
● スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

- USB キーボードが接続されていても、テンキーのみ使用できます

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1　パスワードを設定し（➔ 30 ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔ 112 ページ）

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

フラッシュメモリー内のデータを読み書きされたくないとき

フラッシュメモリーの修理を依頼する際などに、フラッシュメモリーのデータを読み書きされないようにします。フラッシュメモリーを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。

1　セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔ 112 ページ）

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定を、フラッシュメモリーを取り外す前と同じにしてください。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、フラッシュメモリー保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください（➔ 30 ページ）。
- フラッシュメモリーの修理を依頼する際は：
  - 当社ご相談窓口にご相談ください。
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- フラッシュメモリー保護機能は、内蔵フラッシュメモリーにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、フラッシュメモリー保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。（フラッシュメモリー保護はデータの完全な保護を保証するものではありません。）

バッテリー状態表示ランプ

本機には 2 個のバッテリーパックを取り付けられます。
それぞれにバッテリー状態表示ランプがあります。
A：バッテリー 1
B：バッテリー 2

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。 • バッテリーの状態は、Fn + F ()[*1] を押すことで確認できます。（➔ 34 ページ） *1 テンキーモデルの場合：Fn + 9 ()
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	**バッテリーパックが入った状態でバッテリーカバーを取り付けたときは：** 点滅の回数でバッテリー残量がわかります。 点滅回数 / バッテリーの充電状態：5 回 95 % ～ 100 %、4 回 50 % ～ 94 %、3 回 25 % ～ 49 %、2 回 5 % ～ 24 %、1 回 0 % ～ 4 % **上記以外のときは：** 高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%[*2] になるまで放電しています（➔ 35 ページ）。この場合は、AC アダプターを接続していても、バッテリーパックを取り外さないでください。取り外すと電源が切れて、データを消失するおそれがあります。 *2 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時の 80% と同等です。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。

（緑色点滅の表）

点滅回数	バッテリーの充電状態
5 回	95 % ～ 100 %
4 回	50 % ～ 94 %
3 回	25 % ～ 49 %
2 回	5 % ～ 24 %
1 回	0 % ～ 4 %

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
赤色点滅	**約 1 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。 **約 4 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーカバーが開いています。 この場合は、バッテリーパックを取り外すことができます。 **約 0.5 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーカバーが開いています。 この場合、バッテリーパックを取り外すと、電源供給が絶たれて、パソコンの電源が切れてしまいます。すぐにバッテリーカバーを閉じてください。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。
緑とオレンジ色が交互に点滅	気温が低く、フラッシュメモリーの故障を防ぐためパソコンがウォーミングアップしている状態です。パソコンはウォーミングアップ終了後、自動的に起動します。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約 95% 未満になるまで再充電されません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

（Windows にログオンした後）

1 **Fn + F (　)*3 を押す。**

- バッテリーパック装着時（例）

	常温モード時（➔ 35 ページ）	高温モード時（➔ 35 ページ）
充電中	100% 100%	100% 100%
使用中 （枠囲みされているバッテリーパックが使用中です。）	100% 100%	100% 100%

- バッテリーパック未装着時

*3 テンキーモデルの場合：Fn + 9 (　)

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔ 37 ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    AC アダプターから電力の供給がないまま長時間スタンバイ状態にしていると、このような状態になる場合があります。
- バッテリーの残量表示が [電源オプションのプロパティ] の [電源メーター] と異なる場合がありますが、故障ではありません。
- バッテリーでの動作時に表示される残り時間は目安です。時間が増減することがありますが、故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔ 108 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時のバッテリー残量 80% と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充放電量の合計が満充電量の約 5 倍になるまで常温モードに切り替わりません。
  「自動」モードのとき、「常温」と「高温」が切り替わるのは動作中のバッテリーのみです。他方のバッテリーは切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

- 使用中のバッテリー（バッテリー 1 またはバッテリー 2）の残量が 10% 未満になると、自動的にもう一方のバッテリーに切り替わります。両方のバッテリー残量が少ない場合は、以下のような動作になります。

バッテリー残量が 10% になったら [バッテリー低下アラーム]	バッテリー残量が 5% になったら [バッテリー切れアラーム]
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● パソコンは休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は動作中のプログラムを終了し、パソコンの電源を切ってから電源状態表示ランプが消灯したことを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、バッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリーが充電されるかバッテリーを交換するまでは休止状態からリジュームしないでください。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月置きに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1 **AC アダプターを接続する。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

3 **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ]をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始] をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ [完全放電には約 2 時間かかります。] が表示されたら、[はい] をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10 ℃ ～ 30 ℃ の温度環境で実行してください。低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：両バッテリーで最大約 5.5 時間
  - 完全放電にかかる時間：両バッテリーで約 6 時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電や、誤って AC アダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。

  ① パソコンを再起動する。

  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に Fn + ▪ (F9)[*4] を押す。

  ③ バッテリー残量が表示されたら ↵ （Enter）を押す。

  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

[*4] テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使って F9 を押してください。

バッテリーパックを交換する

バッテリーチャージャー（別売り）またはクレードル（別売り）をお持ちの場合は、どちらかのバッテリーを使用している間に、もう一方のバッテリーパックを取り外すことができます。
バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- 必ず本機専用のバッテリーパックを使用してください。

交換／取り外しができるバッテリーパックをチェックする

下記の表をご覧になり、バッテリーパックの交換／取り外しを正しく行ってください。誤ってパソコンを終了してしまうと、データの消失やパソコンの故障の原因になります。

電源オンまたはスタンバイ状態のとき	AC アダプターを接続していない場合	**片方のバッテリーパックのみ交換／取り外しできます。** バッテリーカバーを開いたときに、バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅します。 • 点滅が 4 秒間隔のとき：**取り外しできます。** • 点滅が 0.5 秒間隔のとき：**取り外しできません。**
	AC アダプターを接続している場合	**両バッテリーパックとも交換／取り外しできます。**
電源オフのとき		**両バッテリーパックとも交換／取り外しできます。**
休止状態のとき		**両バッテリーパックとも交換／取り外しできます。**

1 **パネル側を下にしてパソコンを置く。**

- 柔らかい布の上などに置いてください。

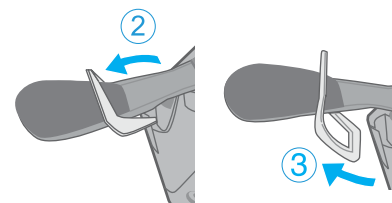
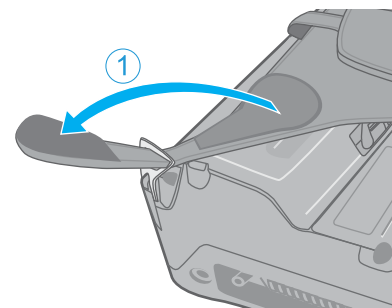
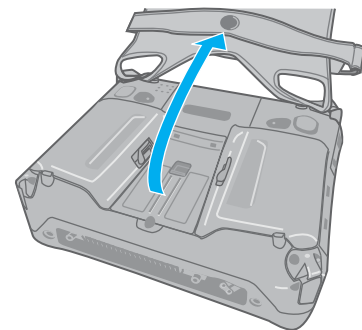
2 **ハンドストラップ左右の金具をパソコンから外す。**

図は左側を例に説明しています。

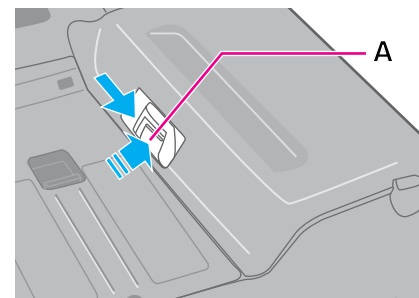
① 金具を通っているハンドストラップの端をはがす。

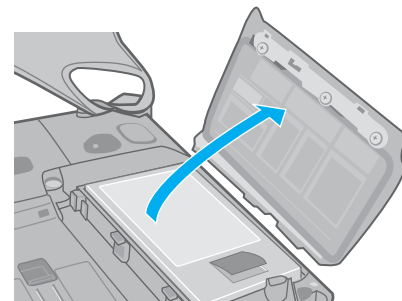
② 金具の上部を手前に引く。

③ 金具をパソコンから抜く。

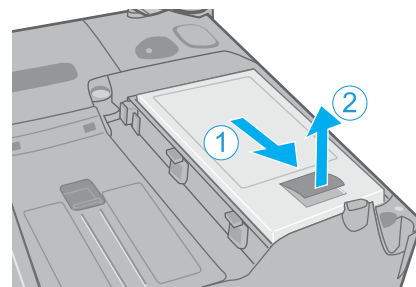
- 右側も同様に行ってください。

3 **ハンドストラップ全体をめくり上げる。**

4 **バッテリーカバーのラッチ（A）を押したままスライドさせ、ロックを解除する。**

以下は、バッテリー 1 の取り外し／取り付けを例に説明しています。

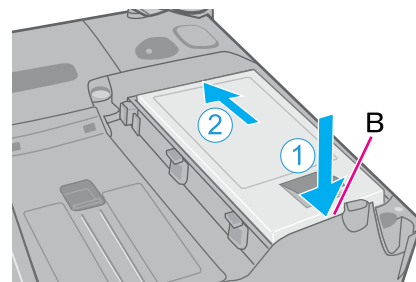
- バッテリー 2 も同様に行ってください。

5 バッテリーカバーを取り外す。

- バッテリー状態表示ランプの赤色点滅を確認してください。（➔ 38 ページ）

6 タブを持ってバッテリーパックを取り外す。

① バッテリーパックを少し手前に引く。

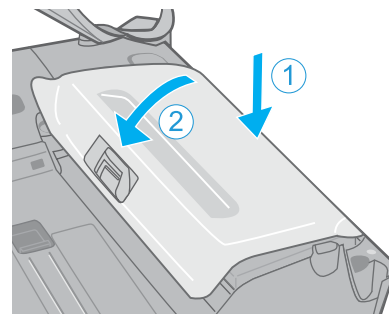
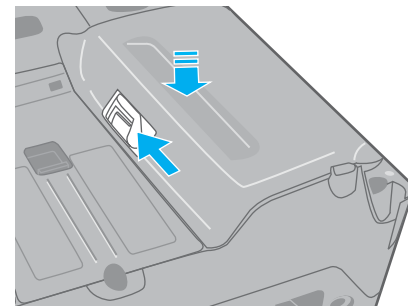
② バッテリーパックを持ち上げる。

7 新しいバッテリーパックを入れる。

① （B）の面に合わせてバッテリーパックを置く。

② バッテリーパックを奥へ押し込む。

8 バッテリーカバーを取り付ける。

① カバーの爪側をパソコンの溝に差し込む。

② ラッチ側を押してカバーを閉じる。

- カバーがしっかり閉じないときは、爪側を差し込み直してください。それでも閉じない場合は、バッテリーパックが確実に入っているか確認してください。

9 **バッテリーカバーを押さえたまま、ラッチをスライドさせてロックする。**

10 **ハンドストラップを元通りに取り付ける。**

- 手順 **2**（① ～ ③）を逆に行ってください。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

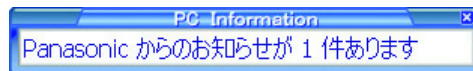
使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2010 年 1 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、画面右下に PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

PC Information
Panasonic からのお知らせが 1 件あります

1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**
バッテリーに関する情報の自動表示機能が有効になります。
以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

お知らせ

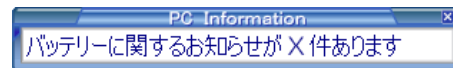
- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」（➔46ページ）をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

バッテリーに関する情報を確認する

PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、画面右下に次の場合に [バッテリーに関するお知らせがX件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

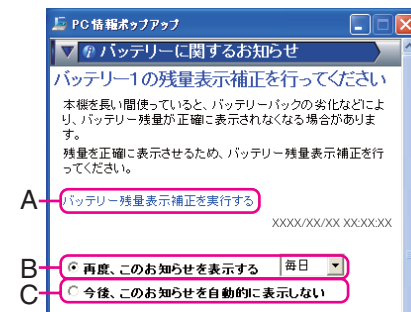
小ポップアップ画面が右下に表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1　[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。

2 **詳細を確認する。**

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、[バッテリー残量表示補正ユーティリティ] が起動します。

B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。

C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

3 **☒をクリックし、ウィンドウを閉じる。**

（画面は一例です）

お知らせ

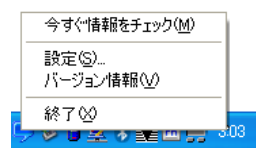
- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況] をクリックする。
  ③ バッテリー 1、またはバッテリー 2の[満充電容量] の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をクリックする。
  ④ [Portable Battery 1] をクリック、または[Portable Battery 2] をクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
  以下の場合には、値が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンを再起動した後確認してください。
  - セットアップユーティリティで「環境」の設定を変更した場合
  - バッテリーパックがセットされていない状態でパソコンを起動した場合
  - 起動後にバッテリーパックを入れ替えた場合

- バッテリー容量を計測し、記憶／学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする] にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、そのバッテリーパックに対して「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、該当するバッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、「バッテリーパックを交換する」（➔38ページ）をご覧ください。

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1 **画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**

小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

2 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**

画面右下に表示されます。

3 **詳細を確認する。**

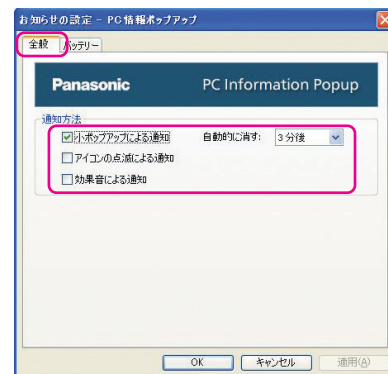
設定を変更する

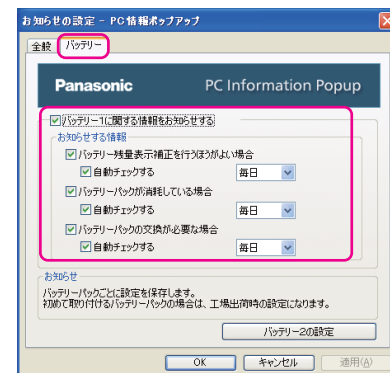
お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1 画面右下のタスクトレイの またはを右クリックし、[設定] をクリックする。

2 [全般]または[バッテリー] タブを選び、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。

3 設定が終わったら [OK] をクリックする。

- **[全般]**
  すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下のタスクトレイの がに変わるだけになります。
  - [小ポップアップによる通知]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
    チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
  - [自動的に消す]
    小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
  - [アイコンの点滅による通知]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下のタスクトレイのPC情報ポップアップアイコンが点滅します。
  - [効果音による通知]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

- **[バッテリー]**
  バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

  - [バッテリー 1に関する情報をお知らせする]
    チェックマークを付けると、バッテリー 1に関する情報が表示されます。
    チェックマークを外すと、バッテリー 1に関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔48ページ）をご参照ください。
  - [お知らせする情報]
    各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリー 1に関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
  - [自動チェックする]
    チェックマークを付けると、定期的にバッテリー 1に関する情報があるか自動的にチェックします。
    チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
    [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。
  - [バッテリー 2の設定]ボタン
    バッテリー 2に関する情報の表示の設定を行います。

お知らせ

- [バッテリー 1に関する情報をお知らせする] のチェックマークと [バッテリ2に関する情報をお知らせする] のチェックマークの両方を外すと、バッテリー 1およびバッテリー 2に関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔48ページ）をご参照ください。
- バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
  バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔48ページ）をご参照ください。

- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔42ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下のタスクトレイに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報があります。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔46ページ）をご覧になり、[バッテリー 1に関する情報をお知らせする] または [バッテリー 2に関する情報をお知らせする] にチェックマークを付けてください。

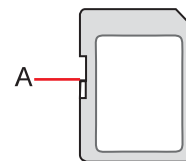
SD メモリーカードについて

- 本機のメモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています。
- miniSD メモリーカードおよび microSD メモリーカードを使う場合は、必ず専用のアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

取り扱いおよび保管上のお願い

- パソコンから SD メモリーカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼る
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

データの取り扱い上のご注意

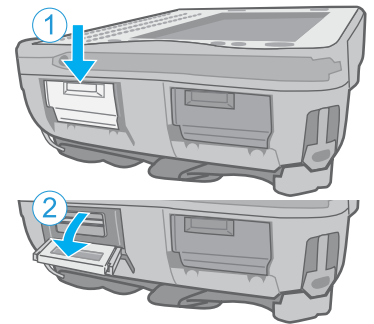
- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。

SD メモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

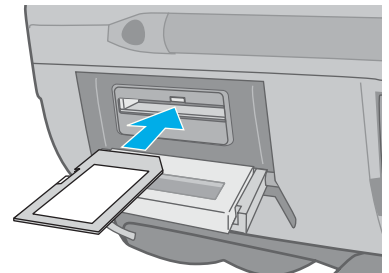
- Windows のデスクトップ画面が表示されるまで、SD メモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スタンバイまたは休止状態のとき
  - SD メモリーカード状態表示ランプが点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなるおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後、約 30 秒間は SD メモリーカードにアクセスしないでください。

■ カードを取り付ける

1 **カバーを開ける。**

① ラッチを下にスライドして、カバーのロックを外す。

② カバーを開ける。

2 **カードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。**

- 初めて挿入した SD メモリーカードは、パソコンが認識するまでに 0.5 ～ 1 分ほどかかります。

■ カードを取り出す

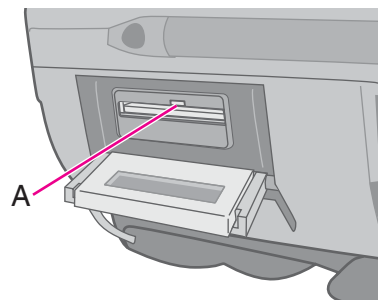
準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- カバーを開けて、SD メモリーカード状態表示ランプ（A）が消えていることを確認してください。

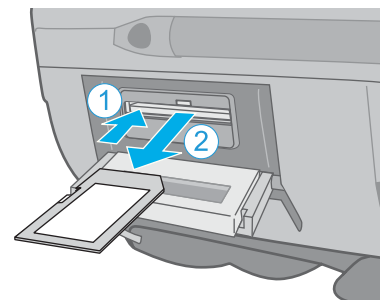
1 カードの停止処理を行う。

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックして、[SD記憶装置デバイス] をクリックし、[停止] をクリックする。

② 画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 カードを取り出す。

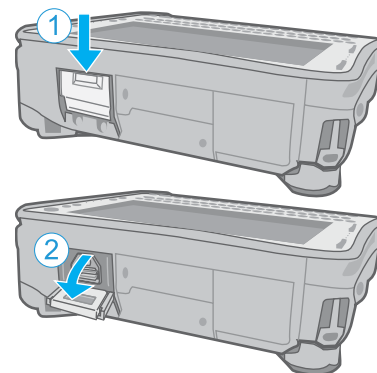
① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

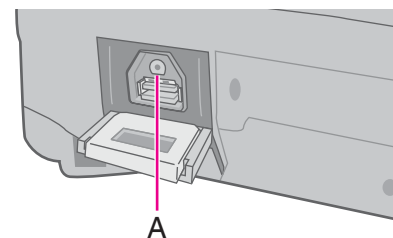
② カードをまっすぐ引き抜く。

USB 機器の取り付け／取り外し

■ USB 機器を取り付ける

1 **カバーを開ける。**

① ラッチを下にスライドして、カバーのロックを外す。

② カバーを開ける。

2 **USB 機器を USB ポートに接続する。**

専用のケーブルを使用する場合は、（A）の位置にネジ留めできます。
詳しくは USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USB 機器を取り外す

1 **USB 機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、USB 機器を選んで [停止] をクリックする。

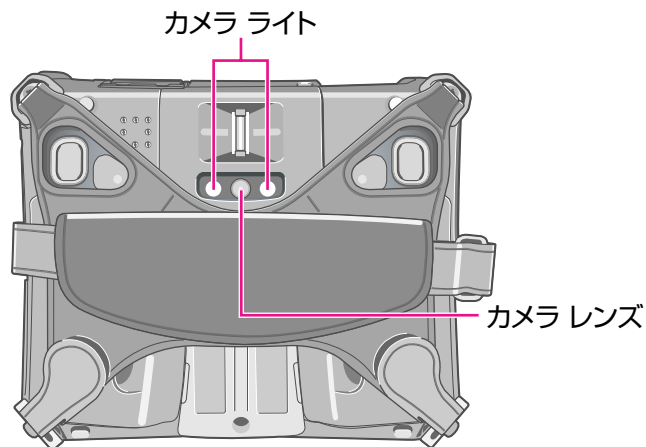
② 画面の指示に従って操作を行う。

● 次の場合は、この手順は必要ありません。
- パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
- が表示されていないとき
- 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2 **USB 機器を取り外す。**

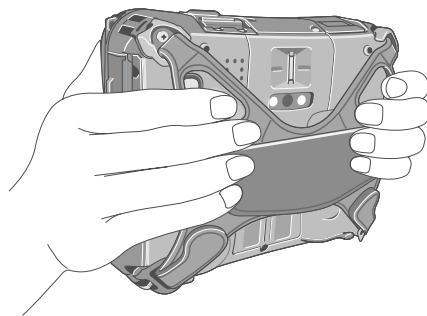
お知らせ

- クレードル（別売り）をお持ちの場合は、USB 機器をクレードルに接続することができます。
- セットアップユーティリティでパソコンのUSBポートおよびクレードルのUSBポートを[有効]または[無効]に設定できます（➔ 109 ページ）。
- USB 機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくは画面の表示または USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB 機器を別の USB ポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB 機器が接続されていると、スタンバイや休止状態に正常に入れない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB 機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンのスイッチを入れたまま USB 機器を抜き挿しすると、! がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB 機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー電力で操作しているときは、使用していない USB 機器を取り外しておいてください。

< カメラ搭載モデルのみ >

お願い

- カメラ ライトを直接見ないでください。

■ 本機の持ち方

1　本機の側面を持ち、カメラ レンズを被写体に向けてください。

お知らせ

- パソコンを高温多湿の場から低温の場へ移動させると、レンズの内部に結露が生じる場合がありますが、これは故障ではありません。レンズが乾くまでお待ちください。

Panasonic カメラユーティリティを起動する

写真や動画の撮影を行うため、Panasonic カメラユーティリティを起動します。

1 **[スタート] -［すべてのプログラム］-［Panasonic］-［Panasonic カメラユーティリティ］をクリックする。**

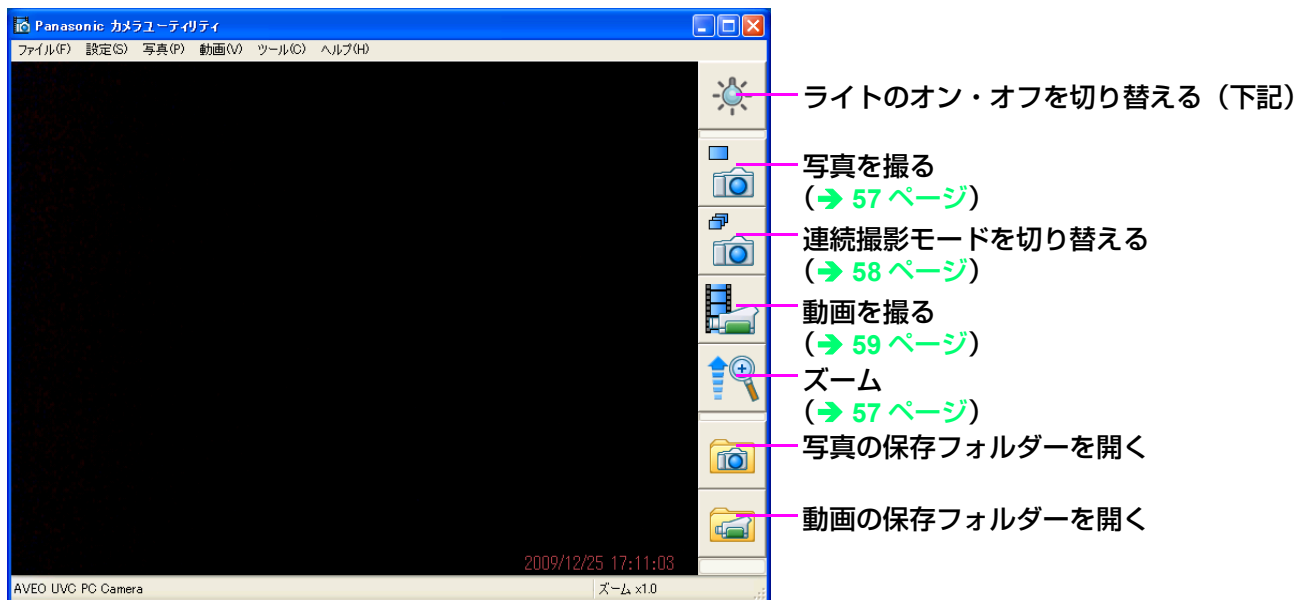
お知らせ

- 本ユーティリティと他のマルチメディア用アプリケーションソフトを同時に使用すると、エラーが発生する場合があります。その場合は、本ユーティリティを含むすべてのマルチメディア用アプリケーションソフトを終了し、本ユーティリティを再起動してください。
- エラーメッセージが表示され、画面に何も表示されなくなった場合は、本ユーティリティを再起動してください。
- 複数のユーザーがユーザー簡易切り替え機能を使って、本ユーティリティを使用することはできません。
- スタンバイや休止状態からリジュームした場合、エラーメッセージが表示され、本ユーティリティが終了することがあります。その場合は、あらためて本ユーティリティを起動してください。

写真を撮る

写真を撮る

Panasonic カメラユーティリティ
ファイル(F) 設定(S) 写真(P) 動画(V) ツール(C) ヘルプ(H)
2009/12/25 17:11:03
AVEO UVC PC Camera ズーム x1.0

ライトのオン・オフを切り替える（下記）
写真を撮る
（➔ 57 ページ）
連続撮影モードを切り替える
（➔ 58 ページ）
動画を撮る
（➔ 59 ページ）
ズーム
（➔ 57 ページ）
写真の保存フォルダーを開く
動画の保存フォルダーを開く

■ ライトのオン・オフを切り替える

ライトのオン・オフを切り替えます。

1 **をクリックするか、［ツール］-［カメラライト］をクリックし、［オン］あるいは［オフ］をクリックする。**

- ライトがオンのときは、アイコンが に変わります。
- この機能をアプリケーションボタンやタブレットボタンに登録することができます。
（➔ 62 ページ「ライトのオン・オフ / ズーム / 写真撮影機能をアプリケーションボタンに登録する」）
- 一定の時間が経過すると自動的にライトが消えます。［ツール］-［カメラライト］-［設定］をクリックし、好みの時間に設定してください。
- バッテリーと LED の保護のため、長時間ライトをオンにしたままにしないでください。

■ ズーム

画像を拡大 / 縮小します。

1 をクリックするか、［ツール］ - ［ズーム］をクリックして［x 1.0］、［x 1.5］、［x 2.0］、［x 2.5］、［x 3.0］の中から選ぶ。

- この機能をアプリケーションボタンに割り当てることができます。（➔ 62 ページ「ライトのオン・オフ / ズーム / 写真撮影機能をアプリケーションボタンに登録する」）
- を押すごとに、ズーム倍率が［x 1.0］、［x 1.5］、［x 2.0］、［x 2.5］、［x 3.0］の順に変わります。［x 1.0］に戻すには、［x 3.0］のときにをクリックしてください。
- 画面を上下にドラッグすると、画像を拡大 / 縮小することができます。

お知らせ

- LCD の左側のズームボタン（➔ 19 ページ）を使って画面を拡大しても、カメラの画像を拡大することはできません。

■ 写真を撮る

カメラの画像を静止画として保存できます。

1 被写体にカメラを向け、ズーム（上記）、画質（➔ 61 ページ）を調節します。

2 をクリックするか、［写真］ - ［写真を撮る］をクリックする。

- 撮影中は、アイコンがに変わります。
- この機能をアプリケーションボタンに登録できます。（➔ 62 ページ「ライトのオン・オフ / ズーム / 写真撮影機能をアプリケーションボタンに登録する」）

お知らせ

- をクリックするか保存したフォルダーをエクスプローラーで開くと、撮影した写真を確認できます。（初期設定では保存先はマイ ピクチャに設定されています。）
- カメラと被写体の距離が近すぎる場合、焦点が合わないことがあります。
- ライト点灯中に写真を撮影すると、ライトの点灯時間が「自動オフ設定」の時間設定（➔ 56 ページ）にリセットされます。

■ 連続撮影モードを切り替える

一定の間隔で連続撮影することができます。

1 **をクリックするか、［写真］ - ［連続撮影を開始する］をクリックする。**

- 連続撮影中は、アイコンが に変わります。

2 **をクリックするか、［写真］ - ［連続撮影を停止する］をクリックする。**

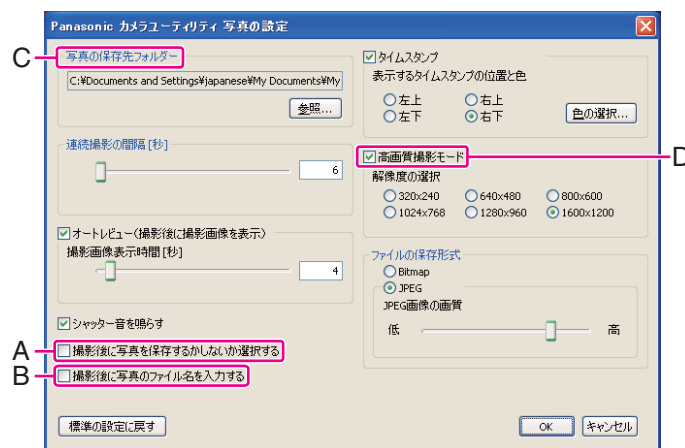
お知らせ

- 連続撮影中は、写真のファイル名を変更したり、保存先を変更したり、保存を取り消したりできません。
撮影画像のファイル名は初期設定では写真撮影時の日時になります。

撮影の設定を変更する

1 **［写真］ - ［設定］をクリックする。**

2 **好みの設定に変更し、［OK］をクリックする。**

- （A）のみにチェックマークを付けたとき：撮影後に写真を保存するかしないか選択する
撮影後に写真を保存するアイコン（ ）と写真を保存しないでプレビューに戻るアイコン（ ）が表示されます。写真のファイル名は写真撮影時の日時になります。
- （B）のみにチェックマークを付けたとき：撮影後に写真のファイル名を入力する
撮影後に Windows のファイル名を入力する機能を使ってファイル名を付けて保存できます。写真は「キャンセル」を選べば削除できます。
- （A）と（B）にチェックマークを付けたとき：撮影後に写真を保存するかしないか選択し、写真のファイル名を入力する
撮影後に写真を保存するアイコン（ ）と写真を保存しないでプレビューに戻るアイコン（ ）が表示されます。画像は写真を保存するアイコン（ ）をクリックしたあと、Windows のファイル名を入力する機能を使ってファイル名を付けることができます。

お知らせ

- （C）で、外付けの記録デバイスを保存先に指定した場合、本ユーティリティの動作が遅くなることがあります。その場合は、本機内蔵のフラッシュメモリーを保存先に指定してください。
- （D）にチェックマークを付けると、高画質の画像を撮影するとこができます。本ユーティリティのウィンドウに表示しているプレビュー画像の大きさにかかわらず、選択した解像度で撮影することができます。
  - この機能を有効にすると、画像の保存に時間がかかります。
  - この機能を無効にすると、［カメラ設定］で選んだ解像度で保存されます。（➔ 61 ページ）

動画を撮る

■ 動画を撮る

1 **をクリックするか、［動画］-［動画の撮影を開始する］をクリックする。**

撮影中は、アイコンがに変わります。

2 **をクリックするか、［動画］-［動画の撮影を停止する］をクリックする。**

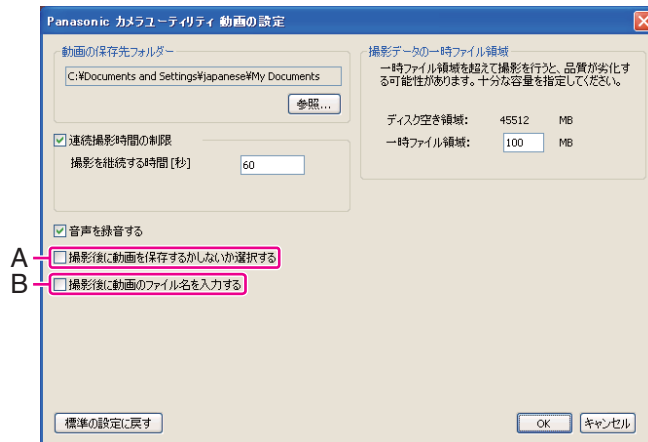
お知らせ

- 動画撮影中は、ズーム機能やタイムスタンプ機能は使えません。
- カメラと被写体の距離が近すぎる場合、焦点が合わないことがあります。
- 外付けの記録デバイスを保存先に指定した場合、本ユーティリティの動作が遅くなることがあります。その場合は、本機内蔵のフラッシュメモリーを保存先に指定してください。
- 動画は、［カメラ設定］で設定した解像度で保存されます（➔ 61 ページ）
- 音声を記録するには外付けのマイクを接続してください。

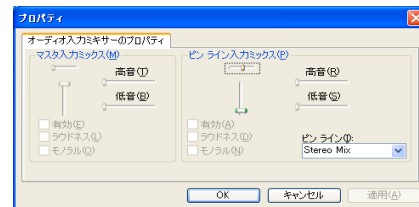
動画撮影時の設定を変更する

1 **［動画］-［設定］をクリックする。**

2 **好みの設定の変更を行い［OK］をクリックする。**

- （A）のみにチェックマークを付けたとき：撮影後に動画を保存するかしないか選択する
  撮影後に動画を保存するアイコン（　）と動画を保存しないでプレビューに戻るアイコン（　）が表示されます。
  動画のファイル名は動画撮影時の日時になります。
- （B）のみにチェックマークを付けたとき：撮影後に動画のファイル名を入力する
  撮影後に Windows のファイル名を入力する機能を使ってファイル名を付けて保存できます。動画は「キャンセル」を選べば削除できます。
- （A）と（B）にチェックマークを付けたとき：撮影後に動画を保存するかしないか選択し、動画のファイル名を入力する
  撮影後に動画を保存するアイコン（　）と動画を保存しないでプレビューに戻るアイコン（　）が表示されます。動画は動画を保存するアイコン（　）をクリックしたあと、Windows のファイル名を入力する機能を使ってファイル名を付けることができます。

各種設定

■ 音声の設定をする
［オーディオ調整］で好みの音質に設定できます。

1 ［設定］-［オーディオ調整］をクリックする。

お知らせ

- ［オーディオ調整］を設定するには、外部マイクを接続してください。
- デバイスによっては設定できない項目があります。

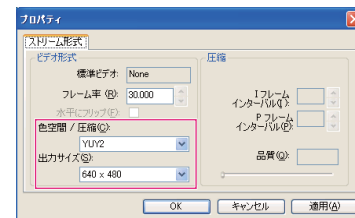
■ 画質の設定をする

［画質調整］で好みの画質に設定できます。

1 ［設定］-［画質調整］をクリックする。

■ 圧縮方式 / 解像度を設定する

1 ［設定］-［カメラ設定］をクリックする。

- ［色空間 / 圧縮］画像の圧縮方式を設定します。
- ［出力サイズ］解像度を設定します。

お知らせ

- ［出力サイズ］は、パソコンの画面解像度の範囲内で設定してください。（『取扱説明書』の「仕様ー表示方式」を参照してください。）
- ［出力サイズ］を設定すると、［フレーム率］は設定に合わせて自動的に変更されます。
- デバイスによっては、設定できない項目があります。

■ ライトのオン・オフ / ズーム / 写真撮影機能をアプリケーションボタンに登録する

カメラライト / ズーム / 撮影機能をアプリケーションボタン (A) に登録することができます。

1 **画面右下のタスクトレイの をクリックしメニューを表示させる。**

2 **[ハードウェアボタン設定] をクリックする。**
ハードウェアボタン設定が起動します。

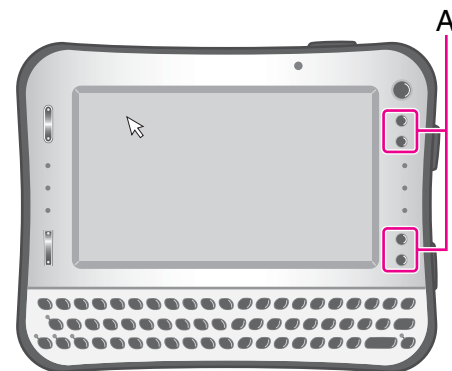
3 **下記を [ボタン1] から [ボタン4] (B) のいずれかに入力する。**

- 〈「ライトのオン・オフを切り替える」機能を登録する場合〉(➔ 56 ページ)
  c:¥program files¥panasonic¥lightsw¥lightsw.exe

  〈「ズーム」機能を登録する場合〉(➔ 57ページ)
  c:¥program files¥panasonic¥panasonic camera utility¥pcam.exe /zoom_in

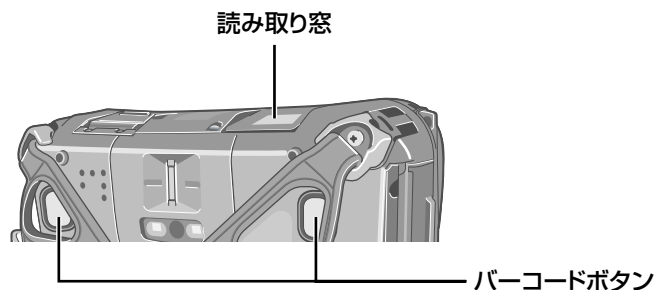
  〈「写真を撮る」機能を登録する場合〉(➔ 57ページ)
  c:¥program files¥panasonic¥panasonic camera utility¥pcam.exe /shutter

  〈ファイル名を指定して「写真を撮る」機能を登録する場合〉(➔ 57ページ)
  c:¥program files¥panasonic¥panasonic camera utility¥pcam.exe /shutter_name

4 **[OK]をクリックする。**

お知らせ

- 本ユーティリティが起動していないときに、「ズーム」機能や「写真を撮る」機能が登録されているボタンを押すと本ユーティリティが起動します。
- 「写真を撮る」機能を登録して実行したときは、「撮影の設定を変更する」（➔ 58 ページ）でチェックマークが（A）（B）ともになしの状態と同じ動作をします。
- ファイル名を指定して「写真を撮る」機能を登録して実行したときは、「撮影の設定を変更する」（➔ 58 ページ）でチェックマークが（A）はなし、（B）はありの状態と同じ動作をします。

バーコードリーダー

< バーコードリーダー搭載モデルのみ >

お願い

- 読み取り窓や読み取り用のレーザーライト (1次元バーコードリーダー)/赤色LEDライト (2次元バーコードリーダー) を直視しないでください。
- 付属の『取扱説明書』の「安全上のご注意」も必ずお読みください。

お知らせ

- 本機を高温多湿の環境から低温環境へ移動させると、レンズの内部に結露が生じる場合がありますが、これは故障ではありません。レンズが乾くまでお待ちください。

バーコードリーダーを設定する

画面右下のタスクトレイの (1 次元バーコードリーダー)/ (2 次元バーコードリーダー) をクリックすると、下記のメニューが表示されます。

バーコードモジュール接続 (省電力モード)	消費電力の節約のために、バーコードボタンを押すまで、バーコードリーダーとの接続は行いません。バーコードを読み込んだ後 1 分以内にバーコードリーダーを停止します。
バーコードモジュール接続 (常時接続)	バーコードボタンを押さなくても、バーコードリーダーの接続状態を維持します。
バーコードモジュールの切断	バーコードリーダーとの接続を切断します。
バーコード接続確認メッセージの表示	省電力モードでバーコードリーダー停止中にバーコードボタンを押すと、誤操作防止のために「バーコードを接続する場合、もう一度バーコードボタンを押してください。」というメッセージを表示します。*1
改行コードの追加 *2	バーコード情報に改行コードを追加します。
1D バーコード キーエミュレータの終了 *2	1D バーコード キーエミュレーターを終了します。
1D バーコード キーエミュレータ情報 *2	1D バーコードキーエミュレーターのバージョン情報を表示します。
Code 39 有効 *3	Code39 タイプのバーコードを読み取ります。Code39 の設定用バーコードを使って、設定を変更することもできます。
パケットモード *3	バーコードをパケットモードで読み取ります。
2D バーコード キーエミュレータの終了 *3	2D バーコード キーエミュレーターを終了します。
2D バーコード キーエミュレータ情報 *3	2D バーコードキーエミュレーターのバージョン情報を表示します。

*1 以下の場合に、確認のメッセージは表示されなくなります。
- メッセージが表示されてから 5 秒間経過したとき
- 確認の画面で [閉じる] をクリックしたとき
- 再度バーコードボタンを押したとき

*2 1 次元バーコードリーダーのみ

*3 2 次元バーコードリーダーのみ

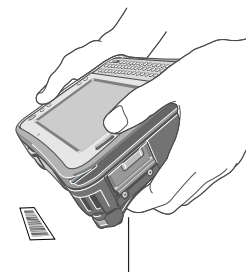
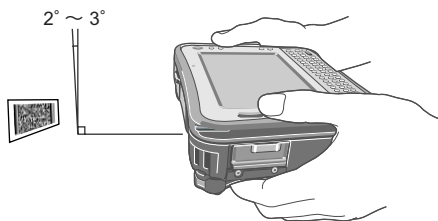
お知らせ

- 省電力モードや常時接続の状態からスタンバイまたは休止状態に入ると、いったんバーコードリーダーは切断され、次回のリジューム時に「電源状態が変更されたので、バーコードモジュールは切断されました」というメッセージが表示されます。
  - 省電力モードの場合は、[OK] をクリックすると、バーコードリーダーとの接続が回復します。
  - 常時接続の場合は、[OK] をクリックした後、上記のメニューから再度 [常時接続] を選べば、バーコードリーダーとの接続が回復します。
- 省電力モードや常時接続の状態からシャットダウンした場合、バーコードリーダーは切断されます。
  - 省電力モードの場合は、電源を入れればそのままバーコードリーダーとの接続が回復します。
  - 常時接続の場合は、電源を入れただけではバーコードリーダーとの接続は回復しません。上記のメニューから再度 [常時接続] を選んでください。

バーコードを読み取る

1 **バーコードにリーダーの読み取り窓を向ける。**

2 **パソコンの背面にあるバーコードボタンのどちらか一方を押す。**
読み取り位置の目安として、赤色 LED ライトが点灯します。

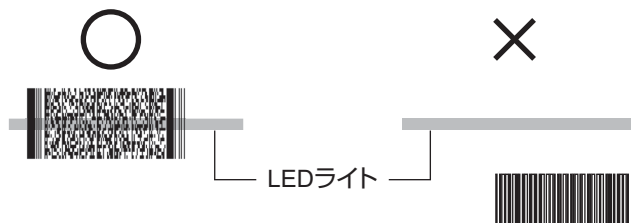
バーコードを正しく読み取るために
- 読み取り時の角度に気を付けてください。
  図のような角度（直角＋ 2゜～ 3゜）で読み取ることをお勧めします。

- 大きいバーコードを読み取るときは遠くから、小さいバーコードやバーが細いバーコードを読み取るときは近くから操作してください。

<1 次元バーコードリーダーの場合 >

- 赤色ビームがバーコード全体にかかるようにして読み取ってください。(赤色ビームがバーコードの両側に 12.7 mm 以上かかるようにしてください。)

<2 次元バーコードリーダーの場合 >

- 赤色 LED ライトがバーコード全体にかかるようにして読み取ってください。

- バーコードが LED ライトの中心からずれていても、読み取りは可能です。ただし、バーコードが赤色 LED ライトの中から少しでもはみ出してしまうと、読み取りはできなくなります。バーコードを完全に LED ライトの中に入れるようにしてください。

バーコードコンフィギュレーションユーティリティを用いると、バーコードの文字列にプリフィックス（接頭辞）やサフィックス（接尾辞）を追加したり、バーコードモジュール接続時の設定を行ったりすることができます。
1D/2D バーコードセッティングユーティリティを用いることで、バーコードコンフィギュレーションユーティリティの操作を行うことができます。

インストールする

バーコードリーダーの動作を設定するために、以下の 2 つのユーティリティが用意されています。

- バーコードコンフィギュレーションユーティリティ
  バーコードリーダーの動作を設定するコンフィギュレーションファイルを作成します。
- バーコードセッティングユーティリティ
  コンフィギュレーションファイルに従ってバーコードリーダーの動作を設定する場合に必要です。バーコードコンフィギュレーションユーティリティから呼び出して使用します。

これらのユーティリティがインストールされていない場合、または削除してしまった場合は、以下の手順でインストールを行ってください。

■ バーコードコンフィギュレーションユーティリティをインストールする

1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

2 [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥util¥bcr_cfg¥setup.exe」と入力して、[OK] をクリックする。

3 画面の指示に従って操作を行う。

■ バーコードセッティングユーティリティをインストールする

1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

2 <1次元バーコードリーダーの場合>
[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥util¥bcr1_set¥setup.exe」と入力して、[OK] をクリックする。

<2次元バーコードリーダーの場合>
[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥util¥bcr2_set¥setup.exe」と入力して、[OK] をクリックする。

3 **画面の指示に従って操作を行う。**
パソコンを再起動する必要はありません。

バーコードコンフィギュレーションユーティリティを使う

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バーコードコンフィギュレーションユーティリティ] をクリックする。**

2 **バーコードモジュールの種類を選び、[OK] をクリックする。**
- 1 次元バーコードリーダーを使う場合は、[1D バーコードモジュール] を選んでください。
- 2 次元バーコードリーダーを使う場合は、[2D バーコードモジュール] を選んでください。

[バーコードコンフィギュレーションユーティリティ] 画面が表示されます。

3 **「設定を適用する」(➔ 70 ページ) から「バーコードキーエミュレータ」(➔ 74 ページ) までの操作を行う。**

4 **設定が完了したら、☒をクリックする。**
確認のメッセージで [はい] を選んでください。

■ ツールバー メニュー
以下のメニューから、コンフィギュレーションファイルの作成や運用を行うことができます。

ファイル	新規作成	新しいコンフィギュレーションファイルを作成します。
	開く	既存のコンフィギュレーションファイルを開きます。
	保存	設定の変更を上書きしてファイルを保存します。
	名前を付けて保存	コンフィギュレーションファイルに名前を付けて保存します。
	終了	バーコードコンフィギュレーションユーティリティを終了します。
ツール	コンフィギュレーション情報の反映	コンフィギュレーションファイルの情報をバーコードモジュールとバーコードキーエミュレーターに反映させるため、1D/2D バーコードセッティングユーティリティを呼び出します。
ヘルプ	バーコード コンフィギュレーション ユーティリティ 情報	バーコード コンフィギュレーション ユーティリティのバージョン情報を表示します。

お知らせ

- エラーメッセージが表示された後に画面が消えた場合は、本ユーティリティを再起動してください。
- 本ユーティリティを起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- スタンバイや休止状態からリジュームした場合、エラーメッセージが表示され、本ユーティリティが終了することがあります。その場合は、あらためて本ユーティリティを起動してください。

設定を適用する

バーコードコンフィギュレーションユーティリティの設定を適用するには、以下の手順を行う必要があります。

1 [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、コンフィギュレーションファイル (*.ini) を作成する。
コンフィギュレーションファイル (*.ini) に名前を付けてください。

2 [ツール] - [コンフィギュレーション情報の反映] をクリックし、設定内容をバーコードモジュールに反映させる。

3 パソコンを再起動する。

お知らせ

- 以下の手順で、ファイルの設定内容をバーコードモジュールに反映させることもできます。
  ① バーコードコンフィギュレーションユーティリティで、コンフィギュレーションファイルを作成して保存する。
  ② 以下の手順で、ファイルの設定内容を適用させる。
  <1次元バーコードリーダーの場合>
  [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥Program Files¥Panasonic¥bcr1d_set¥bcr1d_set.exe x:¥xxxxxxxx¥xxxxxxxx.ini*1」と入力して、[OK] をクリックする。
  <2次元バーコードリーダーの場合>
  [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥Program Files¥Panasonic¥bcr2d_set¥bcr2d_set.exe x:¥xxxxxxxx¥xxxxxxxx.ini*1」と入力して、[OK] をクリックする。
  ③ パソコンを再起動する。
  *1 コンフィギュレーションファイルのドライブ名、フォルダー名およびファイル名
- この設定はバーコードモジュールとバーコードキーエミュレーターの両方に適用されます。パソコンを再起動後に毎回バーコードセッティングユーティリティを起動する必要はありません。

データの設定

1 [データコンフィギュレーション]をクリックする。

2 各種の設定を行う。

プリフィックスの追加： バーコード情報の前に文字列を追加することができます。
- [...] をクリックすると、指定された文字列（<ACK>など）を追加できます。
- 全角文字は指定できません。
- <1次元バーコードリーダーのみ>
  任意に設定できるプリフィックスは、半角英数字1つまでです。

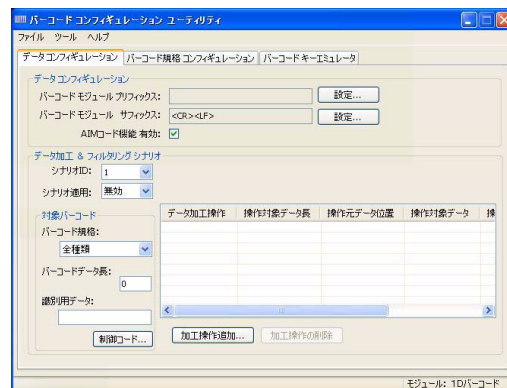
サフィックスの追加： バーコード情報の後ろに文字列を追加することができます。

- [...] をクリックすると、指定された文字列（<ACK>など）を追加できます。
- 全角文字は指定できません。
- [[TAB]コード追加] をクリックすると、入力欄の文字列にタブコードを追加することができます。
- [[Enter]コード追加] をクリックすると、入力欄の文字列に改行コードを追加することができます。
- <1次元バーコードリーダーのみ>
  任意に設定できるサフィックスは、半角英数字2つまでです。

AIMコード機能 有効： この機能を有効にすると、バーコードの種類を識別するための文字列を、バーコード情報の中に追加することができます。

データ加工 & フィルタリング シナリオ

個別のシナリオに基づいて、バーコードのデータを読み取る際のルールを設定することができます。
1つのシナリオごとに1つの動作が適用されます。

① [シナリオID]を選択する。
② [シナリオ適用]で[有効]を選択する。
③ 必要であれば、適用可能なバーコードを以下の方法で指定する。
[バーコード規格]: 選択したタイプのバーコードにだけシナリオを適用します。この機能を有効に設定するには、[AIMコード機能 有効]にチェックマークを付けてください。
[バーコードデータ長]: 指定した長さのバーコードにだけシナリオを適用します。
[識別用データ]: 指定した文字列を含むバーコードにだけシナリオを適用します。
④ [加工操作追加]をクリックする。
⑤ [v] をクリックして、動作を選ぶ。
⑥ 好みの設定に変更し、[追加]をクリックする。
データ加工操作の設定内容は、表に表示されます。

必要な情報が正しく入力されていない場合は、エラーメッセージが表示され、設定内容は表に表示されません。

●<1次元バーコードリーダーのみ>
- シナリオは 1 つしか存在しません。
- 使用できる [データ加工操作] は、[削除（データ位置指定）] と [削除（文字コード指定）] の 2 つです。

お知らせ

- 入力欄を空欄にしたり、[加工操作追加]の文字数の制限を超える数の文字列を入力したりした場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、[OK]をクリックしてエラーメッセージを閉じてから設定をやり直すか、[加工操作追加]画面で[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。
- 登録した動作を変更する場合は、[加工操作の削除]をクリックして動作を削除してから、[加工操作追加]で再度登録をしてください。

バーコード規格の設定

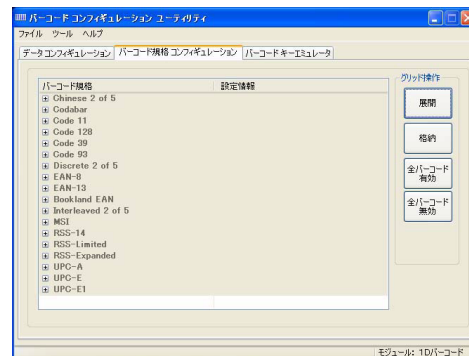
読み取り可能なバーコードの種類ごとに、各種設定を行うことができます。

■ 1D/2Dバーコード規格設定

1 [バーコード キーエミュレーター] をクリックする。

2 ⊞ をクリックしてバーコードのタイプを選ぶ。

3 好みの設定に変更する。

<1 次元バーコードリーダーの場合 >

<2 次元バーコードリーダーの場合 >

お知らせ

- 項目によっては固定値が設定されており、設定を変更できない場合があります。

■ グリッド操作

バーコード規格の設定情報の表示、入力を行うためのグリッドを操作します。

お知らせ

- [2D バーコードのみ無効] は、2 次元バーコードリーダーの場合のみ表示されます。

バーコード キーエミュレータ設定

バーコード キーエミュレータの各種設定を行います。

■ プリフィックスの設定

1 **[バーコード キーエミュレータ] をクリックする。**

2 **[プリフィックス]の右側の[設定]をクリックする。**

- 以降の設定は、[データ コンフィギュレーション] の [バーコードモジュール プリフィックス] と同じです (➔ 71 ページ)。ただし、1 次元バーコードリーダーの場合も、文字数の制限はありません。

■ サフィックスの設定

1 **[バーコード キーエミュレータ] をクリックする。**

2 **[サフィックス]の右側の[設定]をクリックする。**

- 以降の設定は、[データ コンフィギュレーション] の [バーコードモジュール サフィックス] と同じです (➔ 71 ページ)。ただし、1 次元バーコードリーダーの場合も、文字数の制限はありません。

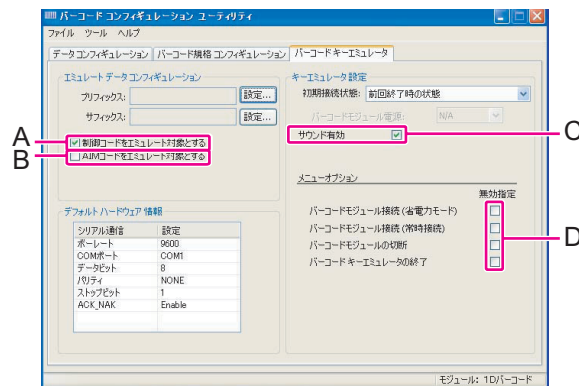
■ 制御コードの適用

この機能を使って、制御コードのキーエミュレートを制御します。
(A) にチェックマークを付けると、HEX 00 を除くすべての ASCII 値がエミュレート対象になり、チェックマークを外すと、HEX 値が 1F 以下の ASCII はエミュレート対象から外れます。

■ AIM コードの適用

[データ コンフィギュレーション] の [AIM コード機能] (➔ 71 ページ) で追加した AIM コードを読み取り対象にするかどうかを設定します。
(B) からチェックマークを外すと、AIM コードが削除されます。

■ 初期接続状態

バーコードキーエミュレータ起動時点でのバーコードモジュールとの接続状態を選択できます。

■ サウンド有効

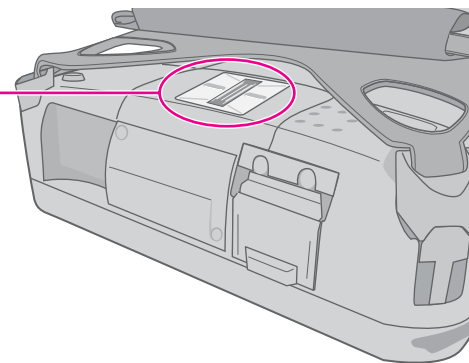
バーコード読み取り成功時にサウンドを鳴らすかどうかを設定します。
サウンドを鳴らしたくない場合は、(C) からチェックマークを外してください。

■ メニューオプション

バーコードキーエミュレータのメニューの無効指定を行います。(➔ 65 ページ)
(D) のいずれかにチェックマークを付けると、その項目をバーコードキーエミュレータのメニューで選べなくなります。

お知らせ

- **デフォルト ハードウェア情報**
  バーコードモジュールとの通信設定の工場出荷時の状態を表示します。他のアプリケーションなどでバーコードモジュールとの通信内容が変更されていても、その内容は表示されません。

< 指紋センサー内蔵モデルのみ >

お知らせ

● 指紋の特徴や状態により、登録および認証ができない場合があります。

指紋センサーを使うには

指紋を登録・認証するときは、以下のように行ってください。

1 指をスライドさせる。

● 読み取りエラーを防ぐには

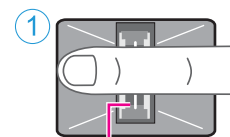
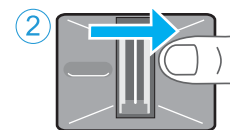
① 人さし指の第一関節から上の部分をセンサーの上に置く。(右図参照)

② 第一関節から指先までが指紋センサーの上を通るように指をスライドさせる。

- 左右どちらからスライドさせても読み取れます。

● 以下のような場合は、指紋の登録・認証ができないことがあります：

- 指をスライドするのが速すぎる、または遅すぎる
- 指が汚れている、または指に傷がある
- 指がぬれている、または極度に乾いている
- 指紋に個人を特定するための十分な情報がない

詳しくは、「指紋センサー」(➔ 131 ページ)をご参照ください。

お願い

● 指紋センサーの誤った使用から生じる損失や故障、または指紋センサーの不具合などによるデータ消失に対して、当社は一切責任を負いません。

概要

指紋認証について

従来のセキュリティシステムでは、ユーザーを認証するために、ID・パスワードや IC カードなどを使用します。しかしこれらでは、紛失や盗難、ハッキングの危険があります。
指紋認証は、指紋をパスワードに使う方法です。パソコンをスタートさせたり Windows にログオンしたりするために、自分の指紋を使うことができます。
TPM（内蔵セキュリティチップ）と組み合わせて指紋センサーを使用することにより、お使いのパソコンのセキュリティレベルを高くすることをお勧めします。

インストール手順

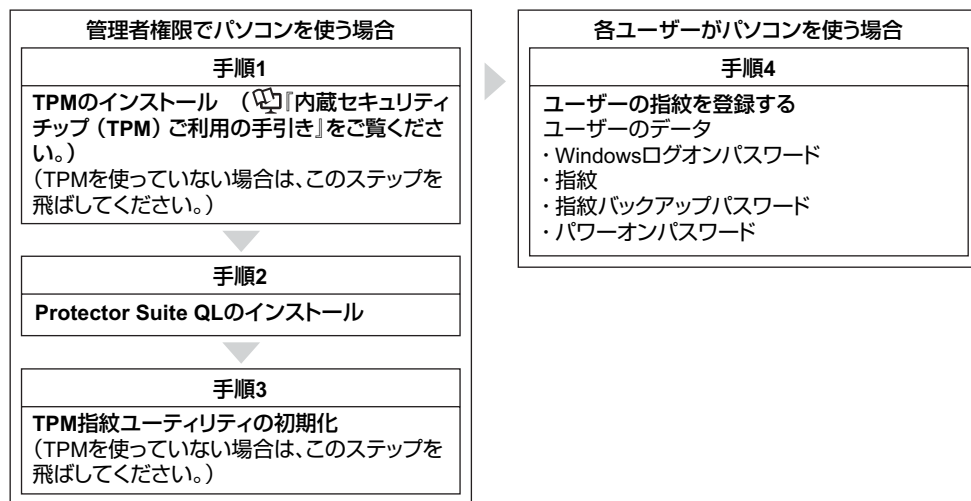
管理者権限でパソコンを使う場合

手順1
TPMのインストール （『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。） （TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

手順2
Protector Suite QLのインストール

手順3
TPM指紋ユーティリティの初期化 （TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

各ユーザーがパソコンを使う場合

手順4
ユーザーの指紋を登録する ユーザーのデータ ・Windowsログオンパスワード ・指紋 ・指紋バックアップパスワード ・パワーオンパスワード

■ ヘルプにアクセスするには

本書には、手順 2、3 および手順 4 の最初の部分が記載されています。
詳しくは、Protector Suite QL Help メニューをご覧ください。
● [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [ヘルプ] をクリックする。

使用上のお願い

■ セキュリティ機能について

- 指紋認証機能は、本人認証と識別を完全に保証するものではありません。指紋認証を使ったこと、または使えなかったことにより発生した損害については、当社では一切責任を負いかねます。
- 指紋認証方法は、複数の指紋、暗号化キー、証明データ、パスワードを使います。指紋が使用できなくなったり、暗号化キー、証明データ、パスワードを失うと、データを使うことができません。指紋認証データは安全な場所にバックアップしてください。詳しくは、「バックアップ」（➔ 82 ページ）をご覧ください。
- 他社製アプリケーションソフトとの相互運用への保証はありません。

インストール

1 TPM をインストールする。

『内蔵セキュリティチップ （TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。
[スタート] - [ファイルを指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、[OK] をクリックする。

- TPM を使用しない場合、この手順は不要です。

2 Protector Suite QL をインストールする。

① コンピューターの管理者の権限でログオンする。
② 他のプログラムを閉じる。
③ [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥fngprint¥install¥setup32.exe」と入力して、[OK] をクリックする。
④ [次へ] をクリックする。
インストールが始まります。画面の指示に従ってください。
⑤「Protector Suite QL*.*は正常にインストールされました。」が表示されたら、[完了] をクリックする。
確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてください。
パソコンが再起動します。
⑥ コンピューターの管理者の権限でWindowsにログオンする。
画面右下のタスクトレイに （Protector Suite QL）が表示されます。

3 TPM 指紋ユーティリティを初期化する。

コンピューターの管理者の権限でログオンしてください。
画面右下のタスクトレイの （Protector Suite QL）をクリックすると、メッセージが表示されます。

● TPM を使っていない場合は、この手順は不要です。

① メッセージをクリックし、[拡張セキュリティ初期化ウィザード] を開始してください。
以降、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

● 「無効な TPM 状況」のメッセージが表示されない場合は、下記の操作を行ってください。
  • [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] - [設定] - [システム設定] - [TPM] - [TPM を初期化] をクリックする。

4 ユーザーの指紋登録をする。

それぞれのユーザーで行ってください。

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [ユーザー登録] をクリックする。
② ライセンス同意文をよく読み、[使用許諾契約書に同意します] を選択して [OK] をクリックする。
③ [次へ] をクリックする。
④ 登録モードを選び、[完了] をクリックする。

● 登録モードの設定
ここでは、登録の設定を一度だけ行えます。
  • バイオメトリックスデバイスへの登録
  指紋データは直接指紋センサーに登録されます。指紋センサーに内蔵されたハードウェア保護機能により登録データは安全に保管されます。画面に利用可能な指紋の数が表示されます。
  • ハードディスクへの登録
  指紋データはフラッシュメモリーに保存します。ハードウェア保護機能は利用できませんが、登録できる指紋の数に制限はありません。

● 「完了」画面が表示されたら、説明をよくお読みください。
● 「ユーザー登録」ウィザードが起動します。画面の指示に従ってください。

お知らせ

● 少なくとも 2 本の指を登録してください。ひとつのデータが破損した場合でも、別の登録データでアカウントとシークレットデータにアクセスすることができます。登録について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔ 76 ページ）および「指紋チュートリアル」（下記の方法でアクセスできます）をご覧ください。
  • [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [指紋チュートリアル] をクリックする。

- パワーオンセキュリティを使うことをお勧めします。この機能は、ユーザーのパソコンが不正にアクセスされることをBIOSレベルで防ぎます。
  最初の指紋を登録した後、[パワーオンセキュリティ] メッセージが表示されます。[はい] を選択してください。
  ① [パワーオンセキュリティ] 画面が出たら、[パスワードを管理します] をクリックする。
  ② [パスワードのタイプ] の [パワーオン] をクリックし、[パスワードを設定] をクリックする。
  ③ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。
  ④ [閉じる] をクリックする。
  ⑤ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] にチェックマークを付ける。
  ⑥ パスワード（手順③）を入力し、[OK] をクリックする。
  ⑦ [次へ] をクリックする。
  • 以降は画面の指示に従ってください。

お知らせ

- [パワーオンセキュリティ] を使用すると、選択された登録モードにかかわらず、指紋は指紋センサーに登録されます。利用可能な指紋の数が画面に表示されます。
- パワーオンセキュリティの有効／無効の切り替えは、上記の手順で行ってください。上記の手順でパワーオンセキュリティを無効に設定した場合、セットアップユーティリティ（➔ 112ページ）で[パワーオンセキュリティ]を[有効]に設定しても、パワーオンセキュリティは機能しません。

セキュリティレベルをさらに高くする

BIOS レベルの設定により、パソコンのセキュリティレベルをさらに高めることができます。
コンピューターの管理者の権限で行ってください。
< テンキーモデルの場合 >
USB キーボードを、パソコンまたはクレードルの USB ポートに接続してください。
USB キーボードでは、下記の説明で **Fn** キーと組み合わせる操作のときに（　）内のキーのみを押してください。
例：**Fn** + **U** (F2) を押す → **F2** を押す

1 スーパーバイザーパスワードを登録する。

次の手順に従ってスーパーバイザーパスワードを登録してください。
すでにスーパーバイザーパスワードを登録してある場合は、この手順を省略し、手順 2 に進んでください。
スーパーバイザーパスワードを登録していない場合、Protector Suite QL を使って指紋が登録されており、かつパワーオンセキュリティが有効なときは、下記手順 ② の後に指紋認証が必要になります。

① パソコンの電源を入れる。または再起動する。
② パソコンが起動を始めた後、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に **Fn** + **U** (F2) または **Fn** + ← (Del) を押す。
③「セキュリティ」メニューを選ぶ。
④「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、↵（Enter）を押す。
⑤「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、↵（Enter）を押す。
- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大 32 文字です。
- 大文字／小文字は区別されません。
- ⇧（Shift）と **Ctrl** キーは使用できません。

⑥「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、↵（Enter）を押す。

2 高度セキュリティを設定する。

①「指紋セキュリティ」を選択し、↵（Enter）を押す。
②「パワーオンセキュリティ」の「有効」を選択する。
③「セキュリティモード」を選択し、「高度」を選ぶ。
- 初期設定：簡易

④ **Fn** + **Tab**（ESC）を押し、サブメニューを閉じる。
⑤ **Fn** + **B**（F10）を押し、「はい」を選び、↵（Enter）を押してセットアップユーティリティを終わる。

お知らせ

- 「高度」セキュリティモードでは、指紋認証をした後でも、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要になります。「簡易」セキュリティモードでは必要ありません。

上手にお使いいただくために

バックアップ

指紋データや認証情報などは、パスポートというファイルに記録されます。アクシデントによるデータ消失を防ぐために、このパスポートファイルをリムーバブルディスクやネットワークドライブなど、安全な場所に定期的にバックアップされることをお勧めします。内部フラッシュメモリーに保存すると、指紋認証セキュリティの安全性が低くなります。
また、バックアップパスワードがあれば、いざというときに指紋認証を回避することができます。「ユーザー登録」ウィザードを使ってバックアップパスワードを設定されることをお勧めします。バックアップパスワードを設定しなかった場合は、認証機器の故障によるデータ消失のおそれがあります。

- 各ユーザーが使用するファイル
  - ユーザーパスポートデータのバックアップ
    （初期名：< ユーザーアカウント >.vtp）
    埋め込み指紋認証チップやフラッシュメモリードライブの交換、または Windows の再インストールを行った場合にこのファイルが必要です。
    パスポートファイルには、指紋、暗号化キー、ログオン認証のデータが含まれています。

お知らせ

- バックアップするには
  ユーザーデータを保存するために [ユーザーデータをインポート/エクスポート] の [エクスポート] を選んでください。
  - [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] - [指紋] をクリックする。

  詳しくは、ソフトウェアのヘルプ（➔ 77ページ）をご覧ください。

- 各ユーザーが使うパスワード
  - 登録のためのバックアップパスワード
    バックアップパスワードは、機器の故障などのとき指紋認証を回避するのに役立ちます。

お願い

- その他のパスワードも、セキュリティに使用しますので、消失しないようにしてください。詳しくは、ソフトウェアのヘルプ（➔ 77 ページ）をご覧ください。

使用制限

● パスワードバンク[*1] 制限：以下の Web ページはサポートされません。
以下の技術で作成された Web ページ
- Java スクリプトを使って自動生成された Web フォーム。
- 1 つのフォーム（ログインフィールド、パスワードフィールドなど）に見えるが、内部的には 2 つの独立したフォームで作成された Web フォーム。
- 送信ボタンのない Web フォームでは自動送信のトラブルが起きる場合があります。↵（Enter）で送信できないすべてのフォームでは、パスワードバンクで入れますが、送信はできません。

● パスワードバンク[*1] 制限：以下の Windows アプリケーションはサポートされません。
- 標準の Windows コントロールを使わず、独自のコントロールで作成されたアプリケーション。
- Java ベースのアプリケーションを含むもの。

[*1] この機能については、ソフトウェアのヘルプ（➔ 77 ページ）をご覧ください。

指紋センサーの取り扱いについて

● 登録と認証の感度は、以下のような状況によって変化します。センサー表面の汚れや湿気を乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 指紋センサー表面が、ごみ、皮脂油、汗などで汚れている
- 指紋センサー表面が、湿気や結露によって湿っている

● 静電気によってセンサーが誤動作する場合があります。指紋センサーに触れる前に金属の表面に触れるなどして、指から静電気を取り除いてください。特に冬や他の乾燥状態での静電気にご注意ください。

● 動作不良や故障が発生するとき：
- 指紋センサー表面が、固いもので擦られたり、引っかかれたり、または先のとがったものでつつかれたために傷が付いたりしている。
- センサーが汚れした指で触られたり、小さな物体による損傷で表面にしみがついている。
- センサー表面がシールで覆われたり、インクで汚れたりしている。

所有者データの消去（初期化）

パソコンを廃棄したり他の人に譲渡したりする場合は、不正なアクセスを避けるために所有者データを消去 (初期化) してください。

お知らせ

- 指紋センサーに登録されたデータは画像データではありません。指紋センサーに登録されたデータから指紋画像データを再生することはできません。

1 パワーオンセキュリティを無効にする。

① コンピューターの管理者の権限でログオンする。

② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] をクリックする。
- 「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

③ [設定]をクリックし、[パワーオンセキュリティ] をクリックする。

④ [コンピュータの起動に指紋を使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

⑤ [指紋] をクリックし、[指紋の登録または編集] をクリックする。
- 「ユーザー登録」画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

⑥「ユーザーの指紋」画面が表示されたら、指紋サンプルを消さずに [次へ] をクリックする。

⑦ [パスワードを管理します] をクリックする。

⑧ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] を選び、[パスワードを未設定] をクリックする。

⑨ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

⑩ [閉じる] をクリックする。
- [パスワードのタイプ] に何も項目がないことを確認してください。

⑪ [次へ] - [次へ] をクリックする。

⑫ [完了] をクリックする。
- 画面の指示に従ってください。

2 指紋データを削除する。

各ユーザーで行ってください。

① [指紋] をクリックし、[削除] をクリックする。
「指の読み取り」画面が表示されます。

② ユーザーの指をスキャンする。
- 認証に成功すると、確認メッセージが表示されます。

③ [はい] をクリックする。
- ユーザーデータが削除されたことを確認してください。

お知らせ

- 登録モードが「ハードディスクへの登録」（➔ 79 ページ）に設定されている場合は、手順 2 の後に指紋データを削除することが必要です。
  コンピューターの管理者の権限で行ってください。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] をクリックする。
  ② [設定] をクリックし、「パワーオンセキュリティ」をクリックする。
  ③ 指紋を選び、[削除] をクリックする。
  • すべての指紋を確実に削除してください。

3　Protector Suite QL をアンインストールする。

コンピューターの管理者の権限でログオンする。

① すべてのプログラムを閉じる。

② [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。

③ [Protector Suite *.*] をダブルクリックし、[変更] をクリックする。

④ [削除] を選ぶ。

⑤ [全ての Protector Suite *.* のデータを削除する] を選び、[次へ] をクリックする。
• アンインストールが始まります。画面の指示に従ってください。

⑥ アンインストール終了のメッセージが表示されたら [完了] をクリックする。
• 確認メッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
• パソコンが再起動します。

所有者データの再登録

「困ったときは（詳細編）」で指紋センサーの問題（➔ 131 ページ）が解決しない場合は、所有者データを消去し、再登録することで解決する場合があります。ただし、パスワード、シークレットキー、および指紋データは消失します。

① コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。
- Windows ログオンパスワードで常にパソコンにアクセスできます。
  便利モードでは、どのユーザーも Windows ログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。

② 次回、パスワード、シークレットキーや登録した指紋を使う予定がある場合は、パスポートをファイルに書き出す。
- すでに最新のパスポートを書き出している場合は、この手順は不要です。
- バイオメトリックス認証で指が認識されたら、「ユーザーデータをインポート/エクスポート」画面を使って指をスキャンし、画面の指示に従って操作を続けてください。
- バイオメトリックス認証で指が認識されない場合は、「ユーザーデータをインポート/エクスポート」画面を表示させ、指紋認証なしでパスポートを書き出すことができます。この場合は指紋ダイアログをキャンセルすることが必要で、パスワードを要求されます。[拡張セキュリティ] を使わない場合は、Windowsログオンパスワードを入力してください。または、[拡張セキュリティ] バックアップパスワードを入力してください。

お願い

- バックアップパスワードなしで [拡張セキュリティ] を使う場合、データをバックアップする方法はありません。
  - バイオメトリックス認証が動作しない場合は、データをバックアップする方法はありません。

③ パスポートの削除
- [削除] 画面を使います。保存されたデータ（パスワード、[File Safe] 暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。
  データをバックアップしてある場合は、次の手順で復元できます。データをバックアップしていない場合は完全に消失します。
  削除操作を行うには、指紋確認操作をキャンセルしてパスワードダイアログを表示させて、Windowsログオンパスワードかバックアップパスワードを入力してください。

④ 指紋センサーが動作していることを確かめる。
- チュートリアル画面を使って、指紋センサーの動作を確認してください。動作しない場合は、再起動して再度行ってください。それでも動作しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

⑤ パスポートを復元または作成する。
- データをバックアップしてある場合はすぐ、[ユーザーデータをインポート/エクスポート] を使ってデータを復元してください。または [指紋の登録または編集] を使って新しいパスポートを作成してください。

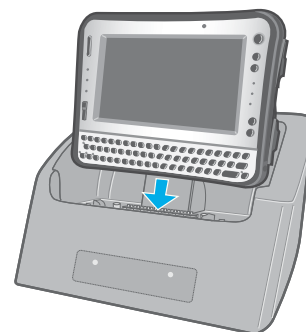
クレードル ／ ミニポートリプリケーター

本機をクレードル（別売り）またはミニポートリプリケーター（別売り）に取り付けることで、いろいろな周辺機器を接続できるようになります。
ここでは、クレードルの場合を例に説明します。クレードルまたはミニポートリプリケーターに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ パソコンをクレードルに取り付ける

1　パソコンの電源を切る。

- スタンバイや休止状態には入らないでください。
- すべての周辺機器を取り外し、端子のカバーを閉じてください。

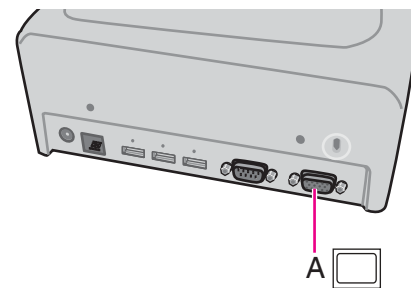
2　パソコンをクレードルの上から挿入する。

3　パソコンを少し奥に倒して、クレードルに固定する。

お願い

- セットアップユーティリティ(➔ 109 ページ)でクレードルの USB ポートを [有効] または [無効] に設定できます。パソコンの USB ポートの設定とは別に設定します。
- クレードルのドライバーはパソコンにインストールされています。
- 電源オン時やスタンバイ・休止状態でクレードル／ミニポートリプリケーターを取り付けたり取り外したりすることはできません。
- クレードルやミニポートリプリケーターのコネクター部が汚れていたらブラシなどで汚れを払い落としてください。また、水分が付着したらふき取ってください。接触不良の原因になります。
- クレードル / ミニポートリプリケーターはシリアルマウスに対応していません。

< クレードルのみ >

- USB フロッピーディスクドライブや USB CD/DVD ドライブからパソコンを起動する場合は、パソコンの USB ポートに接続してください。クレードルの USB ポートからは起動できません。

クレードル接続時に画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
パソコンの電源を入れる前に、外部ディスプレイをクレードルの外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

お知らせ

- スタンバイ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スタンバイ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- Windowsが起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。 Fn + E (▭/▭)[*1]を押すと、外部ディスプレイまたは内部LCD に切り替わります。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先をFn + E (▭/▭)[*1]で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- [コマンド プロンプト] の全画面表示には対応していません。
  [コマンド プロンプト] を全画面表示にしないでください。
- スタンバイ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 高解像度の外部ディスプレイを使用する場合、[Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for mobile] で [MID] に切り替えると、画面の色や解像度、リフレッシュレートが変更されることがあります。
  Fn + E (▭/▭)[*1]を押して表示先を切り替えることをお勧めします。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]
- 画像が正常に表示されない場合は、下記メニューで [ハードウェアアクセラレータ] の値を下げてください。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [トラブルシューティング]

[*1] テンキーモデルの場合 : Fn + 4 (▭/▭)

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、Fn + E (▭/▣)*2 を押して表示先を内部 LCD に切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど)。その場合は、 Fn + E (▭/▣)*2 を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合は、パソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

*2 テンキーモデルの場合：Fn + 4 (▭/▣)

表示先を切り替える

1 **Fn + E (▭/▣)*3 を押す。**

押すたびに、以下のように切り替わります。

内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

- 画面が切り替わらない場合は、デスクトップを右クリックし、[グラフィックプロパティ] をクリックして、画面を切り替えてください。

*3 テンキーモデルの場合：Fn + 4 (▭/▣)

LAN 機能

クレードルまたはミニポートリプリケーター接続時のみ、LAN 機能が使えます。

LAN を接続する

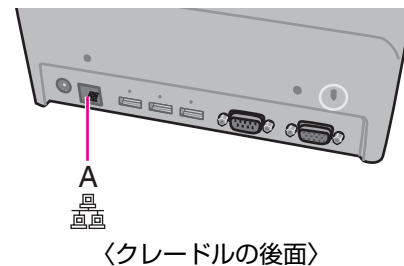
1 **パソコンの電源を切る。**
- スタンバイや休止状態には入らないでください。

2 **パソコンをクレードルに取り付ける**

3 **LAN ケーブルを使って、LAN コネクター（A）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続する。**

4 **パソコンの電源を入れる。**

〈クレードルの後面〉

無線通信をオン／オフする

無線通信のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- 無線切り替えスイッチ（電源端子の右側）で切り替える
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔ 93 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔ 109 ページ）

お知らせ

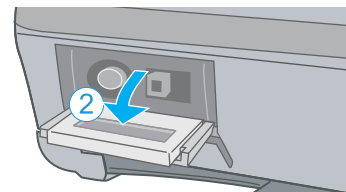
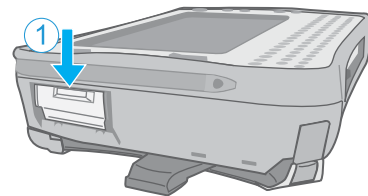
- 無線 LAN について詳しくは：➔ 95 ページ
- Bluetooth について詳しくは：➔ 101 ページ
- ワイヤレス WAN[*1] について詳しくは：➔ 無線機器の説明書をご覧ください。

*1 ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ

無線切り替えスイッチで切り替える

1 カバーを開ける。

① ラッチを下側にスライドして、カバーのロックを外す。

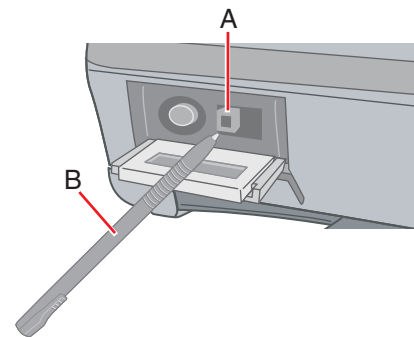
② カバーを開ける。

■ すべての無線通信を無効にするには

2 無線切り替えスイッチ（A）を OFF 側にする。

- 操作は付属のスタイラスペン（B）を使用してください。

■ 無線通信を有効にするには

2 無線切り替えスイッチ（A）を ON 側にする。

- 操作は付属のスタイラスペン（B）を使用してください。
- 工場出荷時は、無線切り替えスイッチを ON にすると、すべての無線機器が有効になるように設定されています。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティをアンインストールする場合は、無線切り替えスイッチを入れてください。
- あまりに短い間隔でスイッチを繰り返し ON/OFF しないでください。

■ 無線通信の状態を確認するには

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールのヒントが表示されます。

お知らせ

- 無線切り替えスイッチの入／切の直後には、再起動やログオフをしたり、スタンバイ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windows の起動処理中／シャットダウン中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線通信を行うためには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューの無線機器（「無線 LAN」/「Bluetooth」/「ワイヤレス WAN」[*2]）を「有効」（工場出荷時）に設定してください。（➔ 109 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔ 109 ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線 LAN / Bluetooth / ワイヤレス WAN[*2]）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線 LAN 通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイスマネージャ] で IEEE802.11a 設定を変更すると（➔ 98 ページ）、それに伴い状態表示も変わります。

[*2] ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティを使うと、画面右下のタスクトレイのポップアップメニューにより無線機器のオン／オフを切り替えることができます。工場出荷時には、すべての無線機器がオンに設定されています。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイの無線切り替えユーティリティアイコンは、無線機器の状態を表します。

- ：無線機器がオンのとき
- ：無線機器がオフのとき

- ：無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機器を個別にオン／オフする

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）をクリックし、ポップアップメニューを表示する。**

2 **無線機器を選んで、オンとオフを切り替える。**

■ 無線切り替えスイッチの設定を変更する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを OFF にすると、OFF にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。この設定は変更することができます。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線切り替えスイッチを ON にしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定できます。

[以下のデバイスをオンする]
無線切り替えスイッチを ON にしたときにオンにしたい無線機器を選択してください。

[無線スイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線切り替えスイッチを ON にすると、最後に無線切り替えスイッチを OFF にしたときの無線機器のオン／オフ設定が選択されます。

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）をクリックし、[設定] をクリックする。**

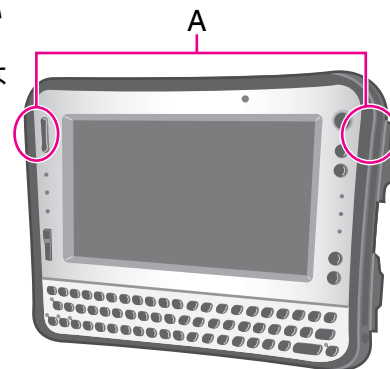
2 **無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。**

3 **[OK] をクリックする。**

お願い

- 無線 LAN を通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには
  無線 LAN をご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどフラッシュメモリー上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線 LAN アンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線 LAN が使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは、正常に動作しない場合や通信速度が遅くなる場合があります。
- 無線 LAN を使うには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで「無線 LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。
  (➔ 110 ページ)

■ 無線 LAN 通信をオン／オフする

➔ 92 ページ「無線通信をオン／オフする」

■ 無線 LAN の通信状態を確認する

1 画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）の上にカーソルを置く。

ツールチップが表示されます。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線通信のオン／オフ状態を表しています。
- [デバイス マネージャ] で IEEE802.11a 設定を変更すると、それに伴い状態表示も変わります。

本機のネットワークの設定

1 無線 LAN をオンにする。（➔ 92 ページ）

2 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）をクリックする。

- をクリックして［ワイヤレスネットワーク接続の状態］画面が表示された場合は、［ワイヤレスネットワークの表示］をクリックしてください。

3 アクセスポイントに接続する。

- 無線 LAN アクセスポイントに接続できるかどうか、次の操作で確認できます。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

① 無線LANアクセスポイントの電源を入れて設定する。

② 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」 をクリックして確認する。

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a の 5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線切り替えスイッチを入にして本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定してください。
5.47GHz ～ 5.725GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **画面右下のタスクトレイの または をクリックする。**

2 **[802.11a 有効] または [802.11a 無効] をクリックする**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線 LAN / Bluetooth / ワイヤレス WAN[*1] のオン／オフ状態を示しています。

*1 ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ

- パソコンが IEEE802.11b/g アクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11a を有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。
- [デバイスマネージャ] でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックする。
  ② [ネットワークアダプタ] をダブルクリックし、[Intel(R) WiFi Link 5100] をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定] をクリックし、[プロパティ] の [ワイヤレスモード] を選択する。
  ④ [値] の [デフォルト値使用] からチェックマークを外し、設定（[802.11a と 802.11g] など）を選択する。
  ⑤ [OK] をクリックする。

無線切り替えユーティリティのポップアップメニューで IEEE 802.11a を有効または無効にすると、[デバイスマネージャ] の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[802.11a、802.11b、802.11g] [802.11bと802.11g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[802.11gのみ] [802.11aと802.11g]	a+g が有効	g が有効
[802.11aのみ] [802.11bのみ]	a が有効	b が有効

本機に暗号を設定する

1 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] をクリックする。

2 [ワイヤレス ネットワーク接続] の [関連したタスク] から [優先ネットワークの順位の変更] をクリックする。

3 [優先ネットワーク] から無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名をクリックし、[プロパティ] をクリックする。

4 無線 LAN アクセスポイントに設定した内容に従って暗号を設定する。

5 [OK] をクリックする。

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[ワイヤレスネットワーク]の[プロパティ]では、[キーは自動的に提供される]のチェックマークを外し、[データの暗号化]、[ネットワーク認証]は設定しないでください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔ 98ページ）IEEE802.11aの5.2 GHz／5.3 GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。
  5.47 GHz～5.725 GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 FREESPOTの設定を選択する。

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。
② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックして選び、[ワイヤレスネットワーク]をクリックする。
③ [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]をクリックして、チェックマークを付ける。
④ [ワイヤレスネットワークの表示]をクリックし、[ワイヤレスネットワークの選択]の中から[FREESPOT]をクリックする。
⑤ [接続]をクリックする。

2 画面右下のタスクトレイの「ネットトセレクターアイコン」 を右クリックしてネットセレクターのメニューを表示させ、[FREESPOT] をクリックする。

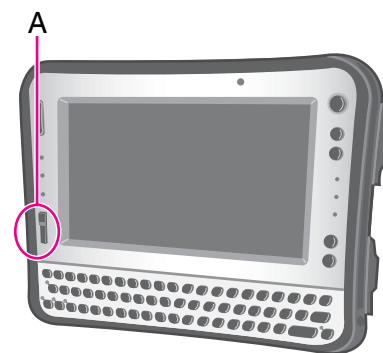
お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

Bluetooth 機能

ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信は Bluetooth アンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- Bluetooth を使うには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。
（➔ 110 ページ）
- 電子レンジの近くでは、正常に動作しない場合や通信速度が遅くなる場合があります。

■ Bluetooth をオン／オフする

➔ 92 ページ「無線通信をオン／オフする」

■ Bluetooth の通信状態を確認する

➔ 93 ページ「無線通信の状態を確認するには」

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズガイド] をクリックする。**

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクターが便利です。

■ ネットセレクターはこんなときに使う

- ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える
  例えば、自宅では無線 LAN、会社では LAN、出張先では別の無線 LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。
- プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える
  例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

■ ネットセレクターでできること

ダイヤルアップ [*1]	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクターの画面から使えます。
ネットワーク	● 会社などで使われているネットワークの設定を 9 件まで登録することができます。 ● 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 ● 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクターの画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN[*2]、無線 LAN、LAN[*2] ＋無線 LAN の 3 種類から選ぶことができます。

[*1] 別売りの外付けモデムが必要です。
[*2] クレードルまたはミニポートリプリケーターに接続時のみ

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

あらかじめ、無線 LAN または LAN*3 など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。

*3 クレードルまたはミニポートリプリケーターに接続時のみ

1 ネットセレクターを表示する。

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックする。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- パソコンを起動した後、初めてネットセレクターを起動した場合は、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。2回目以降は、前回使用していた画面（[接続方法] または [ネットワーク設定]）が表示されます。

2 [接続方法]または[ネットワーク設定]をクリックする。

3 接続アイテムをクリックし、をクリックする。

4 インターネットやメール、ネットワークなどを利用する。

- ダイヤルアップ接続を切断するときは

① 画面右下のタスクトレイのをクリックする。

② [接続方法]画面のメニューボタンからをクリックする。

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 5.5/6.0、Outlook Express 5.5/6.0に限ります。
- Internet ExplorerやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウィンドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの[ツール] - [アカウント] - [メール] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。
- LANの設定を行う場合は、パソコンをクレードルまたはミニポートリプリケーターに接続して行ってください。

- コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合
  - [ネットワーク設定]画面は表示されません。
  - [接続方法]画面：
    - ドメインの設定を行っていない場合、ダイヤルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。
    - [LAN] と [無線 LAN] を統一して [LAN] と表示されます。[LAN] と [無線 LAN] を切り替えることはできません。また、LAN の機器名は表示されません。

ネットワークへの接続設定を登録する

会社では LAN、出張先では別の LAN を使うなど、ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える必要がある場合、各ネットワークの接続方法をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、接続アイテムを選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデム（別売り）によるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録／変更／削除は、コンピューターの管理者の権限でログオンして行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定
  - LANおよび無線 LANの有効／無効
  - 通常使うプリンターの設定
  - Windowsファイアウォールの状態
  - 通常使う接続の設定
- クレードルまたはミニポートリプリケーターにパソコンを接続しない状態で [入力した設定を登録する] を行った場合、ネットワークの設定画面で [LANを有効にする] を選択することができません。
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。
< テンキーモデルの場合 >
USB キーボードを、パソコンまたはクレードルの USB ポートに接続してください。
USB キーボードでは、下記の説明で Fn キーと組み合わせる操作のときに（ ）内のキーのみを押してください。
例：Fn + U (F2) を押す → F2 を押す

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Fn + U (F2) または Fn + ← (Del) を押す。**

パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき
- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき
- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、項目の設定を変更することはできません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - Fn + ・ (F9)（工場出荷時の設定）は使えません。

お知らせ

- セットアップユーティリティでは、「ハードディスク」を「フラッシュメモリー」に読み替えてください。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

言語（Language）	English 日本語（Japanese）
製品情報 機種品番 製造番号 **システム情報** プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク **BIOS 情報** BIOS 電源コントローラー 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 （変更できません）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

システム日付 • 年／月／日（曜） • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx（曜）]
システム時間 • 24 時間制です。 • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]
メイン設定	
タッチパネルモード	タッチパネルモード タブレットモード 自動
現在の状態 • 「タッチパネルモード」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	タッチパネルモードの設定状態に応じ、「タッチパネルモード」または「タブレットモード」のどちらかが表示されます。
Del/BS Key	標準 入れ替え
APP3 ボタン • この設定は Windows が完全に起動し終わるまでのみ有効です（セットアップユーティリティの間など）。 [アプリケーション] を選択すると、APP3 ボタンは無効になります。[F1] - [F12] を選択すると、APP3 ボタンは、選択した機能のキーとして働きます。いずれの場合も、ハードウェアボタン設定で [Button 3] に割り当てられたアプリケーションは、Windows の起動後に有効になります。	アプリケーション F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
APP4 ボタン	アプリケーション Ctrl+Alt+Del

項目	設定
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD
充電中バッテリー状態表示	点灯 明滅
環境	常温 高温 自動
バッテリー 1 の現在の状態 • 「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。
バッテリー 2 の現在の状態 • 「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。

詳細メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

CPU 設定	
データ実行防止機能	無効 有効
Hyper Threading Technology	無効 有効
Intel (R) Virtualization Technology	無効 有効
周辺機器設定	
SD スロット	無効 有効
USB ポート	無効 有効
クレードル USB ポート	無効 有効
レガシー USB	無効 有効
カメラ • カメラ搭載モデルのみ	無効 有効
照度センサー閾値	無効 High Mid Low
▶ 無線設定	サブメニュー表示 *1
▶ シリアルポート設定 • GPS とバーコードリーダーの設定をします。	サブメニュー表示 *2

[*1] 以下のサブメニューは「無線設定」を選択すると表示されます。

項目	設定
無線スイッチ	無効 有効
無線 LAN	無効 有効
ワイヤレス WAN ・ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth	無効 有効

[*2] 以下のサブメニューは「シリアルポート設定」を選択すると表示されます。

項目	設定
GPS ・GPS 搭載モデルのみ	無効 有効
バーコードリーダー ・バーコードリーダー内蔵モデルのみ	無効 有効

起動メニュー

起動オプション優先度	
起動オプション＃1	USB フロッピー [*3]
起動オプション＃2	ハードディスク
起動オプション＃3	USB CD/DVD ドライブ
起動オプション＃4	LAN
起動オプション＃5	USB ハードディスク

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の設定は、次のようになっています。
「USB フロッピー [*3]」→「ハードディスク」→「USB CD/DVD ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」

- 変更したい起動機器の上で ↵ （Enter）を押し、下記のメニューから起動機器を選択してください。
  - 選択した起動機器がすでに他の起動オプション (#1 ～ #4) にある場合は、新しい設定が優先され、重複した起動オプションと表示が入れ替わります。
  - 下記のメニューで「無効」を選択した場合は、その起動オプションを飛ばして次の起動オプションが有効になります。

USB フロッピー [*3]
ハードディスク
USB ハードディスク
USB CD/DVD ドライブ
LAN
無効

[*3] USB フロッピーからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。

お知らせ

- 以下のデバイスから起動するには、下記のように設定してください。
  - USB 機器から起動するには、「詳細」メニューで「レガシー USB」を「有効」に設定をしてください。
    (➔ 109 ページ)

セキュリティメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

起動時の表示設定	
Setup Utility 表示 ・「無効」にすると、[Panasonic] 起動画面に [Press F2 for Setup] というメッセージが表示されませんが、 Fn + U（F2）キーおよび Fn + ←（Del）は働きます。	無効 有効
起動時のパスワード *4	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定 *4	サブメニュー表示
ハードディスク保護 ・「スーパーバイザーパスワード設定」を行っている場合のみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定 *4 ・「スーパーバイザーパスワード設定」を行っている場合のみ設定できます。	サブメニュー表示
▶ セキュリティチップ（TPM）の有効化 ・詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。 [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、[OK] をクリックする。	サブメニュー表示
▶ 指紋認証セキュリティ ・指紋センサー内蔵モデルのみ	サブメニュー表示

*4 ＜テンキーモデルの場合＞
USB キーボードが接続されていても、テンキーのみ使用できます。

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する
保存オプション	
設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す
デバイスを指定して起動	
(デバイス情報)	次回に起動するデバイスを選択する

フォントサイズ拡大

文字、アイコン、タイトルバー、カーソルなどの表示項目を拡大することができます。

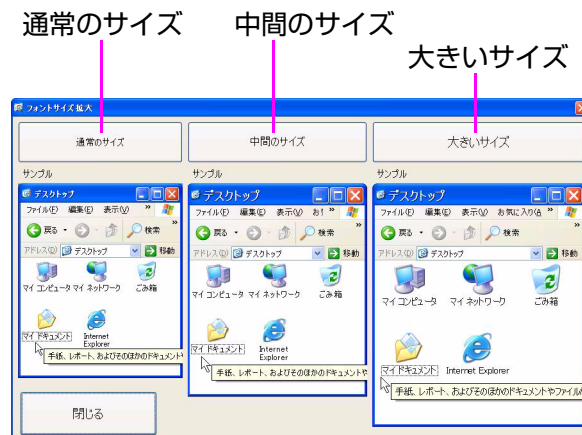
お願い

- ディスプレイ解像度が 800 × 600 ドット以下の場合、フォントサイズ拡大はご使用いただけません。

準備：
フォントサイズ拡大を使用する前に、すべてのアプリケーションソフトを閉じてください。

1 **[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[フォントサイズ拡大] をクリックする。**

2 **サイズを選択する。**

3 **[OK] をクリックする。**
選択されたサイズで画面が表示されます。

お知らせ

- 拡大表示されると、一部の表示項目が隠れる場合があります。この場合は、カーソルをポップアップに合わせて表示させるか、画面をスクロールさせるか、または他の機能を使用して隠れている項目を表示させてください。それでも表示できない場合は、通常のサイズに戻し、「画面ズーム機能」を使用してください（➔ 19 ページ）。
- フォントサイズ拡大は、Internet Explorer で表示されたウェブサイトの文字や Outlook Express の電子メール文字にも対応していますが、一部の文字は拡大されない場合があります。
- [大きいサイズ] を選ぶと、スタートメニューの一部が表示されません。

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、当社のご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでは、ソフトウェアは診断できません。
< テンキーモデルの場合 >
USB キーボードを、パソコンまたはクレードルの USB ポートに接続してください。
USB キーボードでは、下記の説明で **Fn** キーと組み合わせる操作のときに（ ）内のキーのみを押してください。
例：**Fn** + **U** (F2) を押す → **F2** を押す

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

下記のハードウェアを診断することができます（ソフトウェアを診断することはできません）。
- CPU/System（CPU のチェック）
- RAM XXX MB（メモリーのチェック）
- HDD XXX GB（フラッシュメモリードライブのチェック）
- Video（ビデオコントローラーのチェック）
- サウンドコントローラー *1
- 無線 LAN 機能
- ワイヤレス WAN 機能 *2
- Bluetooth 機能
- GPS 機能 *3
- USB
- SD カードコントローラー
- キーボード
- タッチパネル

*1 診断中に、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを使わないでください。（Windows メニューで音声をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。）
*2 ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ
*3 GPS 搭載モデルのみ

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- フラッシュメモリードライブとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作には外部マウスまたは内蔵キーボードをお使いください。

操作内容	外部マウス操作	内蔵キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にカーソルを置く。	Space を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（☒（閉じる）は選択できません）。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません）。	アイコンの上で Space を押す。
PC-Diagnostic ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	☒（閉じる）をクリックする。	Ctrl、Alt、Fn + ← (Del)*4 を押す。 *4 USB キーボードの場合：Ctrl + Alt + Del

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティまたはその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。

1 **AC アダプターを接続し、無線切り替えスイッチを ON にする。（➔ 92 ページ）**
診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2 **パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Fn + U (F2) または Fn + ← (Del) を押す。**
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

3 **Fn + ▪ (F9) を押す。**
確認メッセージで「はい」を選び、↵（Enter）を押してください。

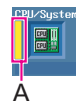
4 **Fn + B (F10) を押す。**

確認メッセージで「はい」を選び、↵（Enter）を押してください。
パソコンが再起動します。

5 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Ctrl + Fn + K（F7）を押す。**

PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。

- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- 画面に触れないでください。
- ハードウェアアイコンの左側（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、内蔵キーボードは使えません。

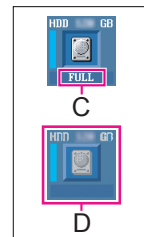
- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ ：診断を最初から実行する。
  - □ ：診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません。）
  - i ：ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、Space を押すと元の画面に戻ります。）
- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、フラッシュメモリーやメモリーの拡張診断を実行したりすることができます。（拡張診断はフラッシュメモリーとメモリーのみ）拡張診断は詳細な診断を行うため、終了するまで時間がかかります。

① □ をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
フラッシュメモリーまたはメモリーの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

例 フラッシュメモリー

③ ▷ をクリックして診断を開始する。

6 **すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。**

表示の色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
表示の色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。(『取扱説明書』の「再インストールする」を参照してください)

7 **☒（閉じる）をクリックするか、Ctrl、Alt、Fn + ← (Del)[*5] を押してパソコンを再起動する。**

*5 USB キーボードの場合：Ctrl + Alt + Del

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、フラッシュメモリーのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やフラッシュメモリーの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。フラッシュメモリーデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。
< テンキーモデルの場合 >
USB キーボードを、パソコンまたはクレードルの USB ポートに接続してください。
USB キーボードでは、下記の説明で **Fn** キーと組み合わせる操作のときに（ ）内のキーのみを押してください。
例：**Fn** + **U** (F2) を押す → **F2** を押す

フラッシュメモリーデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お知らせ

- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

準備

- 以下を準備してください。
  - Windows 7 用プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - USB CD/DVD ドライブ（別売り）（推奨ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
- すべての周辺機器（CD/DVD ドライブ以外）を取り外してください。
- AC アダプターを接続して、操作が完了するまで取り外さないでください。

1 パソコンの電源を切り、CD/DVD ドライブを USB ポートに接続する。

2 パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Fn + U (F2) または Fn + ← (Del) を押す。

セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 Fn + ・ (F9) を押す。

- 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ （Enter）を押してください。

4 **Fn + B（F10）を押す。**

- 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵（Enter）を押してください。

パソコンが再起動します。

5 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Fn + U（F2）または Fn + ←（Del）を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

6 **プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。**

7 **「終了」メニューの「デバイスを指定して起動」で、接続した CD/DVD ドライブを選ぶ。**

8 **↵（Enter）を押す。**

- パソコンが再起動します。
- 以下の操作中にパスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

9 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] を選び、[次へ] をクリックする。**

10 **確認メッセージで「はい」をクリックする。**

11 **[実行する] をクリックする。**

12 **再度 [実行する] をクリックする。**

13 **[はい] をクリックする。**

フラッシュメモリーのデータ消去が始まります。

14 **終了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、[OK] をクリックする。**

エラーコード／メッセージ

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2010 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> **キーを押すとセットアップを起動します。**	● エラー内容をメモした後、 Fn + U (F2) または Fn + ← (Del) を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。（➔ 105 ページ)

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スタンバイや休止状態）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下することがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[システム スタンバイ] と [システム休止状態] を [なし] に設定することをお勧めします。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックしてください。

Windows 関連ファイルについて

Windows XP DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。

c:¥util¥msupdate¥sp3¥docs, c:¥util¥msupdate¥sp3¥dotnetfx, c:¥util¥msupdate¥sp3¥support,
c:¥util¥msupdate¥sp3¥valueadd, c:¥windows¥i386

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
• パソコンの使用状態を確認するには（➔ 137 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ スタンバイ・休止状態

スタンバイまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スタンバイ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● リジューム直後はスタンバイ・休止状態には入りません。約 1 分間お待ちください。
スタンバイ・休止状態に自動的に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続しているときは、アクセスポイントの設定を実行してください。（➔ 97 ページ）無線 LAN 機能を使っているときに、スタンバイまたは休止状態に入るには、「スタンバイ・休止状態に入る」（➔ 27 ページ）をご参照ください。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合は、無線 LAN 機能の電源を切ってください。（➔ 92 ページ） ● フラッシュメモリーに定期的にアクセスするソフトウェアまたは CPU に負荷がかかるソフトウェアを使っていないか確認してください。

■ サウンド

音が聞こえない。	● **Fn** + **A**（▼🔈）または **Fn** + **S**（🔈▲）を押してミュートを解除してください。*1 ● パソコンを再起動してください。 *1 テンキーモデルの場合：**Fn** + **・**（▼🔈）または **Fn** + **7**（🔈▲）
音が乱れる。	● **Fn** とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。

■ サウンド

Fn + A（音量減）または Fn + S（音量増）で音量を変更できない。*2 *2 テンキーモデルの場合： Fn + ・（音量減）または Fn + 7（音量増）	● Windows のサウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。
サウンドレコーダーを開始したとき、「There was an error updating the registry」が表示された。	● 最後にサウンドレコーダーを使用したパソコンの管理者と異なる言語設定をしている制限ユーザーによってサウンドレコーダーが開始されたときに発生します。操作には影響ありません。

■ キーボード

日本語が入力できない。	● Alt + ｀ を押して日本語入力モードにしてください。 ● テンキーモデルの場合は、ソフトウェアキーボードを使用してください（➔ 14 ページ）。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● LAN を設定してください。（➔ 91 ページ）
パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする。 ②「ipconfig/all」と入力し ↵（Enter）を押す。 ③ 有線 LAN または無線 LAN の、[Physical Address] と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 ④「exit」と入力し ↵（Enter）を押す。

■ ネットワーク

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 無線 LAN が切断される。	● これらの問題は、CPU の省電力機能によって、パフォーマンスが低下するために起きる場合があります。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥cpupower¥setup.exe」と入力して [OK] をクリックする。画面の指示に従ってください。 ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [CPU省電力設定]をクリックする。 ③ [パフォーマンス優先] をクリックし [OK]をクリックして、[はい]をクリックする。パソコンが再起動します。 ● それでも問題が解決しない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックし、[電源設定] の [常にオン] をクリックし、[OK] をクリックしてください。 • この操作は、CPU の省電力機能が原因で発生する現象には効果がありますが、その他の原因による現象には効果がありません（例：ビデオ再生など、CPU に高い負荷がかかりノイズが発生する場合など）。 • この操作を行うと、バッテリーでの駆動時間が多少短くなります。通常は、[CPU 省電力設定] を [バッテリー優先（Windows XP 標準）] に、また [電源オプション] の [電源設定] を [Portable/Laptop] に戻しておくことをお勧めします。

■ 無線通信

ネットワークに接続できない。	● 無線切り替えスイッチをスライドして、無線機器をオンにしてください。（➔ 92 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで、「無線 LAN」、「Bluetooth」または「ワイヤレス WAN」*3 を「有効」に設定してください。（➔ 109 ページ） *3 ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ ● パソコンを再起動してください。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。	● 無線 LAN の電源を入れた直後、または IEEE802.11a を有効にした直後は、アクセスポイントが検出されません。以下の手順で検出してください。 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックする。 ② [利用できるワイヤレス ネットワークの表示]をクリックして、[ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックする。 • ワイヤレスネットワーク接続 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ② [ネットワーク接続]画面の[ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックして、[無効にする]が表示されていることを確認する。 [有効にする]が表示されている場合は、無線LANが無効です。[有効にする]をクリックしてください。 • ワイヤレスオン ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ② [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [全般] - [構成] - [詳細設定]をクリックする。 ③ [ワイヤレス オン]と表示されていることを確認する。 [ワイヤレス オフ]と表示されている場合は、[ワイヤレス オフ]をクリックし、[ワイヤレス オン]をクリックしてください。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● パソコンどうしが、直接通信を行う方式（ad hoc モード）になっていないか確認してください。 ① 画面右下のタスクトレイのまたはを右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ② [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレス ネットワーク]をクリックする。 ③ [詳細設定]をクリックする。 ④ [コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ]が選択されている場合は、[利用可能なネットワーク（アクセスポイント優先）]をクリックする。 ● [ワイヤレス ネットワークの選択] 画面で、接続するアクセスポイントの右側に「オンデマンド」または「手動」と表示されている場合は、アクセスポイントをクリックして、[接続] をクリックしてください。 自動接続するには、下記の手順に従ってください。 ・「オンデマンド」と表示されている場合： アクセスポイントが通信範囲内にあっても、自動で接続しないように設定されています。自動接続するには以下の設定を行ってください。 ①「関連したタスク」にある「優先ネットワークの順位の変更」をクリックする。 ②「優先ネットワーク」から接続するアクセスポイントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ③ [接続]をクリックする。 ④「自動接続」の[このネットワークが範囲内にあるとき接続する]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。 次回からは自動接続されます。 ・[手動] と表示されている場合： 前回、接続中のアクセスポイントを切断したため、手動接続になっています。一度接続し直すと、次回からは自動で接続されます。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● 画面右下のタスクトレイに または が表示されている場合は、下記の手順を行ってください。 • が表示されているときは、IP アドレスなどが正しく取得できなかった可能性があります。 をクリックし、[サポート] をクリックして [修復] をクリックしてください。 上記を行っても が表示される場合は、ネットワークの各設定を確認してください。 • が表示されている場合は、接続中です。そのまましばらくお待ちください。 の表示が長く続く場合、下記の手順を行ってください。 ① をクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。 ② 接続するアクセスポイントをクリックし、[切断]をクリックする、 ③ 再度、接続するアクセスポイントをクリックし、[接続]をクリックする。 ● ネットワーク接続の画面にネットワークブリッジが作成されていませんか？ネットワークブリッジを使用しない場合は削除してください。
アクセスポイントとの通信が切れる。	● IEEE 802.1X 規格の認証システムを採用していないネットワーク環境の場合は、下記の手順に従って、[このネットワークで IEEE 802.1X を有効にする] にチェックマークが付いていないことを確認してください。 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ② [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ] - [ワイヤレス ネットワーク]をクリックする。 ③ [優先ネットワーク]から接続するネットワーク名をクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ④ [認証]をクリックし、[このネットワークでIEEE 802.1X認証を有効にする]にチェックマークが付いていないことを確認する。
無線 LAN の接続が切れる。	● （➔ 125 ページ「ネットワーク」の「LAN の通信速度が極端に遅くなる。」）

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。
周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スタンバイ・休止状態からリジュームした後、マウスなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を再度初期化してください。 ● デバイスマネージャで ! が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。 次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックする。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理] の [電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。）
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。
USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● ご使用のフロッピーディスクドライブによっては、正常に起動しない場合があります。フロッピーディスクからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブまたはクレードルの USB コネクターを経由して接続しないでください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔ 109 ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」にしてください。（➔ 111 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。

■ 周辺機器を接続する

割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 現在のアドレスマップを確認するには、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [表示] - [リソース（種類別）] をクリックしてください。
印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。

■ タッチパネル

カーソルが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作してパソコンを再起動してください。 （ ⊞ [*4]、 U の順に押し、 R で [再起動] を選んでください。） [*4] ご購入時は固定キーが [有効] に設定されているので、⊞ （Windows）を3回押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。（➔ 136 ページ）
付属のスタイラスペンで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。（➔ 13 ページ）
タッチパネルを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「タッチパネルモード」を「自動」または「タブレットモード」にしてください。（➔ 107 ページ）
Internet Explorer でスクロール機能を使用できない。	● タッチパネルを使用してください。 ● マウスカーソルを Internet Explorer の外へ移動してから、あらためて内側へ戻してみてください。

■ SD メモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SD スロット」を「有効」に設定してください。（➔ 109 ページ）

■ バーコードリーダー（バーコードリーダー搭載モデルのみ）

読み取りができない。	● 読み取り時の角度を確認してください。 ● バーコードに傷や汚れがないか確認してください。 ● 読み取り範囲を確認してください。 ● バーコードが仕様にあっているか確認してください。 ● バーコードと本機の距離を調整してください。 大きいバーコードを読み取るときは遠くから、小さいバーコードやバーが細いバーコードを読み取るときは近くから操作してください。 ● 工場出荷時の設定に戻してください。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

指紋の登録・認証ができない。	● 指を正しくスライドさせてください。登録と認証について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔ 76 ページ）または「指紋チュートリアル」をご覧ください。 • [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [指紋チュートリアル] をクリックする。 ● 指の状態が以下のような場合は、指を正しくスライドさせても登録・認証ができなかったり、正しく認証されなかったりすることがあります。 • 皮膚が荒れていたり、切り傷や皮膚炎がある • 極度に乾燥している • 泥や油で汚れている • 指紋が摩耗して溝が浅くなっている • 水にぬれている、または湿っている < 以上のような状態の場合は、次の処置で改善することができます > • 手を洗ったりふいたりする • 登録・認証に別の指を使う • 皮膚が荒れたり乾燥している場合は、ハンドクリームで手入れをする ● 指紋センサーをきれいにしてください。詳しくは「指紋センサーの取り扱いについて」（➔ 83 ページ）をご覧ください。 ● 上記の方法を行っても改善されない場合は、指紋センサーに不具合がある場合があります。ご相談窓口にご相談ください。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

指紋センサーが動作しない。	● センサーを交換するときは、エクスポートしたパスポートが役に立ちます。 ・コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。 Windows のログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。 便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 ・[File Safe] にアクセスするには [File Safe] は、[File Safe] バックアップパスワードを使ってアクセスできます。 ・その他の機能 センサーの交換／取り外しは「指紋センサーの交換」の説明に従ってください。（➔ 134 ページ） いくつかの機能（パスポートの削除など）はセンサーなしで行えます。削除操作の場合は、パスワードダイアログを出すために、指紋認証操作をキャンセルする必要があります。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

指紋を登録できない。（けがなど）	● このような問題を避けるために、少なくとも2つの指紋を登録しておくことをお勧めします。複数の指紋を登録してある場合は、使用できる指を使ってください。指紋登録が1つしかない場合は、[指紋の登録、または編集] を使って追加の指紋を登録することをお勧めします。 登録した指がどれも使えない場合は、以下の操作を行ってください。 ① コンピューターの管理者の権限でWindowsにログオンする。 Windowsのログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 ② 登録した指紋をアップデートする。 Protector Suite QLの機能をすべて使うには、使用できる指紋登録を持っていることが必要です。[指紋の登録、または編集] 画面に入ってください。 • [拡張セキュリティ] を使っていない場合は、Windowsのパスワードを使って入ることができます。 • [拡張セキュリティ] をバックアップパスワードで使っている場合は、バックアップパスワードで入ることができます。 • [拡張セキュリティ] をバックアップ・パスワードなしで使っている場合は、異なる指紋を追加する他の方法はありません。この場合は、指が再び使えるようになる（傷が治るなど）まで待つか、パスポートを削除（[削除] 使用）して、新しい指紋を登録し直すことをお勧めします。 パスポートを削除した場合は、保存されたすべてのシークレットデータ（パスワード、[File Safe]、暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。削除操作を行うには、パスワードダイアログを出すために指紋認証操作をキャンセルすることが必要です。そしてWindowsのログオンパスワードを入力してください。 • [File Safe] にアクセスするには 手順②を行っていない場合は、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

TPM が使えない。	● TPM（内蔵セキュリティチップ）と一緒に[拡張セキュリティ]を使用している場合に、TPMが損傷または削除されたり、無効になったりしている場合、[拡張セキュリティ]は動作しません。 [拡張セキュリティ]バックアップパスワードを使用しない場合は、「所有者データの再登録」を行ってください（➔ 86ページ）。[拡張セキュリティ]バックアップパスワードを使用する場合は、以下の手順を行ってください。 ① バックアップパスワードを使って、[指紋の登録または編集] ウィザードへ入る。 ② [拡張セキュリティ]を無効にし、終了する。 ③ TPMを修理し有効にした後（またはその内容を削除しただけの場合）、指を使って[指紋の登録または編集]ウィザードへ再び入り、再びTPMと[拡張セキュリティ]を有効にする。
指紋センサーの交換	● 指紋センサーを交換する必要がある場合は、以下の作業を行ってください。 ハードディスクへの登録： [ハードディスクへの登録] に設定してある場合は、[Protector Suite QL] はデバイス上にどのデータも保存していませんので、センサーを交換した後も問題ありません。しかし、パワーオンセキュリティ（リブート認証）を使っている場合は、[指紋の登録、または編集] を使って関係データをアップデートすることが必要になる場合があります。 デバイスへの登録： 指紋がデバイスに登録されている場合は、新しいパスポートを要求されます。[所有者データの再登録]（➔ 86ページ）を行ってください。
[拡張セキュリティ] のバックアップパスワードを消失した。	● [指紋の登録、または編集] で指をスキャンし、指紋登録をしてください。[拡張セキュリティ] でバックアップパスワードを変更することができます。
Protector Suite QL の再インストール	● Protector Suite QL をアンインストールしている間に、パスポートを含む Protector Suite データを消去する／しないを選択できます。 ● 製品の再インストールをしたい場合、Protector Suite QL データをパソコンに残すボタンを選んでください。インストールの後、再びデータを使用することができます。 ● パスポートを含む Protector Suite QL をアンインストールしても、指紋をデバイスに登録している場合、指紋は削除されませんので再インストール後に再登録することができます。 指紋データの登録場所を変えたい場合は、Protector Suite QL の再インストールが必要です。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

[File Safe] のバックアップパスワードを消失した。	● [File Safe] バックアップパスワードを変更する必要があります。ソフトウェアのヘルプ（➔ 77ページ）をご覧ください。
Protector Suite QL をアンインストールした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● [File Safe] データへはProtector Suite QLを使ってのみアクセスできます。誤ってProtector Suite QLをアンインストールした場合は、再インストールの必要があります。アンインストールの間にパスポートを取り除かなかった場合は、[File Safe] を含むすべてが自動的に働きます。アンインストールの間にパスポートデータを取り除いた場合は、[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
パソコンがクラッシュした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● エクスポートしたパスポートを持っている場合は、すぐにインポートすると、指紋を使って [File Safe] にじかにアクセスできるようになります。または、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます：[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
指紋センサーからデータを消去したい。	●「デバイスへの登録」に設定した場合、パスポートデータはデバイスに保存されます。それを消去するには、[削除] で既存のパスポートを消去し、さらに [指紋デバイス内データ管理] を使って残りの指紋（前のインストールから残っているなど）を消去します。 ● 便利モードでは、[指紋デバイス内データ管理] は既存のパスポートを残すために最新の指紋データを消去させないようになっており、ユーザー個人の指紋のみ消去できます。従ってまずはパスポートを消去することが必要です。

■ ユーザー簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザーの簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。ユーザーの簡易切り替え機能を使うことはあまりお勧めできません。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • Fn とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • マウスが動作しない。 • 無線 LAN が使えない。 • Bluetooth が使えない。 ● このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● Ctrl、⇧（Shift）[*5]、Fn + Tab（ESC）[*6] を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れています。Alt[*5] + Tab で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4 秒以上押してパソコンの電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。Windowsが正しく動作しているにも関わらずアプリケーションが起動しない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックし、そのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。 *5　テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使用してください。 *6　テンキーモデルの場合：Esc

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、フラッシュメモリーなどの管理情報がフラッシュメモリー内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1 回あたり最大 2048 バイトです。これらの情報は、万が一、フラッシュメモリーが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。
- 管理者権限でログオンしていない場合は、一部「未検出」と表示される情報があります。
- 実行中は、PC 情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [PC 情報ビューアー] をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存] をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK] をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して [保存] をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] になっていない場合は、記録済みの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルで保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **Ctrl + Alt + Fn + K (F7)[*7] を押す。**

[*7] テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使用してください。

3 **メッセージが表示されたら [OK] をクリックする。**

[マイドキュメント] フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で画面コピーを保存することもできます。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [画面コピー] をクリックする。

お知らせ

- 画像は 256 色のビットマップファイルです。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせは Ctrl + Alt + Fn + K (F7)[*8] になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] をクリックする。
  ③ [画面コピー] を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット] をクリックする。
  ④ [ショートカット キー] をクリックし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK] をクリックする。

[*8] テンキーモデルの場合は、USB キーボードを使用してください。

自動デフラグを停止する

Windows では、ファイルアクセスの高速化などの目的のためデフラグと呼ばれる処理が自動的に行われます。しかし、フラッシュメモリーではファイルが分散して保存されていても高速でアクセスすることができますので、必ずしも必要ではありません。また、フラッシュメモリーを長期間使用するためには書き込み回数を減らすことが有効ですので、自動デフラグを停止することをお勧めします。

お知らせ

- 自動デフラグを停止すると、外付けハードディスクを接続した場合にも自動デフラグ機能が働かなくなり、パフォーマンスに影響する場合がありますので、必要に応じて設定を変更してください。

■ Windows がバックグラウンドで行う自動デフラグを停止する

1 **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

2 **[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥setdfrg¥setdfrg.exe」と入力して、[OK] をクリックする。**

- 制限ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力して [OK] をクリックしてください。
- 「自動デフラグ設定変更ユーティリティ」が起動します。

3 **[自動デフラグを無効にする] をクリックする。**

- 元の設定に戻す場合は、[自動デフラグを有効にする（Windows標準）] をクリックしてください。

4 **設定変更の画面が表示されたら [OK] をクリックする。**

- Microsoft とそのロゴ、Windows 、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

PCJ0290H_XP